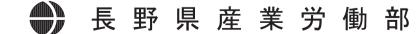
## 長野技術専門校 空調設備改修工事

M-01	機械設備特記仕様書	E-01	電気設備特記仕様書
M-02	解体工事特記仕様書	E-02	配置図
M-03	案内図・配置図	E-03	受変電設備単線結線図
M-04	機器表	E-04	動力盤結線図
M-05	系統図	E-05	管理棟 動力設備 1階平面図
M-06	管理棟 1階平面図	E-06	管理棟 動力設備 2階平面図
M-07	管理棟 2階平面図	E-07	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 動力設備 平面図
M-08	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 平面図	E-08	電気工事科実習棟・寄宿舎棟 動力設備 平面図
M-09	電気工事科実習棟 平面図		
M-10	寄宿舎棟 平面図	A - 0 1	改修特記仕様書
M — 1 1	管理棟 空調設備配線 1階平面図	A - 0 2	管理棟 平面図
M-12	管理棟 空調設備配線 2階平面図	A - 0 3	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 電気工事科実習棟 平面図
M-13	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 空調設備配線 平面図	A - 0 4	寄宿舎棟 受電室 平面図
M-14	電気工事科実習棟 空調設備配線 平面図		
M-15	寄宿舎棟 空調設備配線 平面図		
M-16	電気工事科実習棟 平面図 (撤去) 画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 平面図 (撤去)		
M — 17	概略工事工程表		

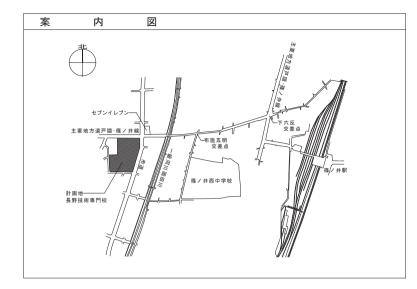


関建築とまち研究室

## 長野技術専門校空調設備改修工事(機械設備工事)

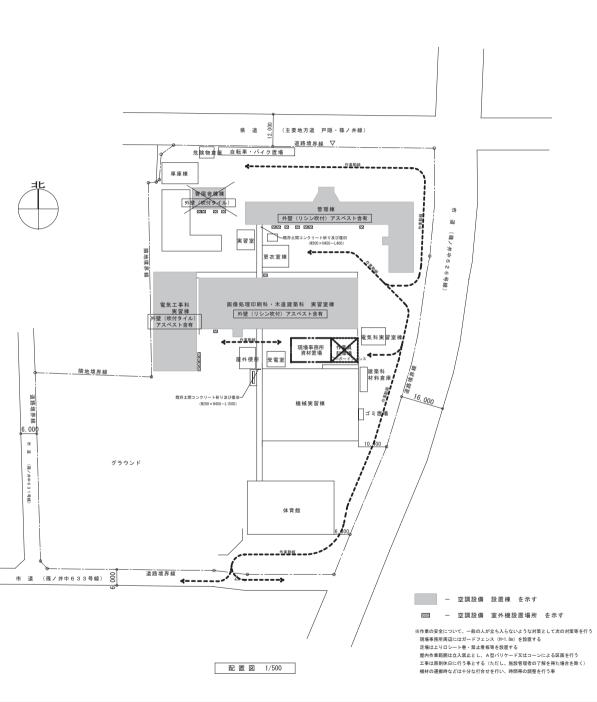
	A # # # # # # # # # # # #	<b>这回计别力 制这条点 医分布 口袋使能打团说到道山本心味"约林(上道中————</b>	25 8 0 4 5 4 -	第二十五十回月後時第四〇時五月半月日の第四十日	10 8 2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
I. 工 事 概 要		使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した誤書を作成し、 監督職員の承諾を受ける。	26 管の埋設表示	図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製標柱を埋め込む。舗装部分 は埋設標示ピンとする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。	10 ヒストンタンパー 11 弁 類	復帰方式 (・遠隔 ・ ) JIS又はJV(・5K ・10K(図示部分))
1. 工 事 場 所 長野市福ノ井市施五明	他工条件明示項目	公共建築工事検算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」		排水管を除く管には、埋設表示用テーブを設置する。		取付部は國示による。
2. 建物 概 要 	<ul> <li>④ 化学物質を免散する</li> <li>建 菜 材 料 等</li> </ul>	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するも のとし、次の1)から5)を満たすものとする。	27 溶 接 都 の 非破壊検査	検査対象 記管 煙道 ・ 抜取率 標準仕様書による ・	13 圧 力 計 14 瞬間 流量計	取付部は図示による。 コック付とし、形式及び取付部は図示による。
建物名称 工事種別 構造 階数 延床薬額(m) <sup>消防法接行令</sup> 耐度分類 備 考 面現紙 改修 10: 2	~ * 7 * *	1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボー		検査の種類 ・RT ・PT又はMT		制御盤には(・給油ポンプ制御 ・満油警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御
田田		ド、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しない か、発散が極めて少ないものとする。	28 塗 装	下記の金属電線管は塗装を行う。 ・屋外露出 ・ ( )の屋内露出		<ul> <li>・減油警報 ・ )の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御整間の配管配線</li> </ul>
		2)保温村、緩衡村、断熱村はホルムアルデヒド及びスチレンを免散しないか、免散が極めて少ない	[]	<ul> <li>・屋外窩出</li> <li>・()の屋内窩出</li> <li>下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。</li> </ul>		は製造者の標準仕様とする。
		ものとする。		・倉庫・	1 \$ 7 +	・毎日ダクト ・高日1ダクト ・高日2ダクト
3. 工 事 種 目 (●印を付けたものを適用する)		3)接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ー2ーエチルヘキシルを含有しない難揮免性の可 塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、免数		這 心 送 風 機 ·標準基礎 ·防振基礎 · %以上 ·		<ul> <li>・アングルフランジエ法</li> <li>・スパイラルダクト</li> <li>・コーナーボルト工法(・共板フランジエ法)</li> </ul>
建物別 工 事 内 容		が極めて少ないものとする。		空 調 用 ポ ン プ 及び ・ 標準基礎 ・ 防振基礎 ・ 80% 以上 ・	U 換	・厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き (・要 ・不要)
● 空 気 調 和 設 備 ●-式 ●-式 ●-式 ●-式 ○-式 ○-式 ○-式 ○-式 ○-式 ○-式		4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼンを発散しないか、発散が極めて 少ないものとする。	1	ポイラー給水用ポンプ 損水用ポンプ及び ・標準基礎 ・防振基礎 ・80%以上 ・	- 気 	・厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。 取付位置は図示による。
○ 冷 暖 房 設 備 ○一式		5)上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルム		小形給水ポンプユニット	2 2 3 ダ ン バ ー	空気調和設備の該当項目による。
た一0         た一0         た一0         た一0         た一0         た一0         た一0         た一0         指         3         現         回         0           た一0         た一0         た一0         た一0         た一0         た一0         指         3         現         0         0           た一0         た一0         た一0         たー0         たー0         たー0         指         3         点         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0 <td></td> <td>アルデヒドを免散しないか、免散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを免散しないものとは、免散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒ</td> <td><b>O</b>= # #</td> <td>- 別図による。 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1、表4.1.11による。</td> <td></td> <td>・浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 ・ 空気調和設備の該当項目による。</td>		アルデヒドを免散しないか、免散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを免散しないものとは、免散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒ	<b>O</b> = # #	- 別図による。 電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1、表4.1.11による。		・浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統 ・ 空気調和設備の該当項目による。
○ 排 煙 設 備 ○-式		ドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものをいい、原則として規制対象外のも	0 # > V	既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。		
<u> た-0</u> た-0 た-0 た-0 た-0 た-0 た-0 た-● た-● た-● 酢 祝 時 健 自 ● た-0 た-0 た-0 た-0 た-0 た-0 た-0 た-0 た-0 た-0		のを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。	®# 21 ≥ V	標準仕様書第2編によるほか下記による。		
○ 給 水 設 備 ○-式		ホルムアルデヒドの発散量         該当する建築材料           ①JIS及びJASのF☆☆☆女規格品	「消音内貼り	給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ (グランド部を含む)、フランジ、可とう継手及び空 調ダクトのフランジは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。	# 2 排煙口の形式	
た-0     た-0     た-0     た-0     た-0     た-0     た-0     た-0     た-0     た     2       た-0     た-0     た-0     た-0     た-0     た-0     た     た     た     た		②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品	[]	各配管の保温厚で標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は 約2	煙 3 排煙口手動開放装置	・ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要)
○ 消 火 設 備 ○-式		<ul> <li>③下記表示のあるJAS規格品         <ul> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> </ul> </li> </ul>	[]	除く。 ・換気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・	(開放及び復帰方式) 4 排 煙 風 量 測 定	「建築設備定期検査業務基準書平成20年度版」((財)日本建築設備昇降機センター)の排煙風量
○ ガ ス 設 備 ○-式		規 制 対 象 外 b 接着刑等不使用	[]	・外気取入れダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・		の検査方法に準ずる。
太一〇     ム一〇     ム一〇     ム     ム     ム     ム		<ul> <li>a 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用</li> <li>d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用</li> </ul>		<ul> <li>・排気ダクトの保温要(保温厚25mm)</li> <li>・範囲は図示による</li> <li>・透りダクトの保温要(保温厚25mm)</li> <li>・範囲は図示による</li> </ul>	<ol> <li>中央監視制御装置</li> <li>中央監視制御装置</li> </ol>	・有り ・無し 図示による
たつ なつ なつ なつ たつ ほう 単鉄 単音 実 の		e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用	L L	・膨張タンクよりポイラーへの補給水管の保温は膨張管の項による。	• • • • • • •	
〇 浄 化 槽 股 備         〇-式         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         〇         ○		f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ①JJIS及びJASの F☆☆☆機格品	{	<ul> <li>・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。</li> <li>●空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による</li> </ul>	自却 動設 3 電気計装工事の配線	使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表1.5.1 表4.1.11の使用 電線類の規格による。(機器、整類は除く)
4.股債概要(O印を付けたものを適用する)		<ul> <li>(1)JIS&amp;UAKOD F☆☆☆規構品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</li> </ul>	L L	・全熱交換器用ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ・	。 制備	屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。
方法及び推別 設備 概要	•			保温種別は下記による ダクト ・イ (・1号 ・2号) ・ロ		天井内隠蔽の配線は国面に特記のない限りケーブル配線とする。
空 詞 方 式 〇 空ホヒートポンプエアコン	③ベーストシール剤	飲料水管系に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている	1	冷温水、冷水、温水、蒸気管 ・イ ・ロ	1 大 便 器 洗 浄 弁	<ul> <li>・バキュームブレーカー</li> <li>・不凍結装置付</li> <li>・低圧フラッシュバルブ())</li> </ul>
	-	下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン、スチレン	L L	機器 ・イ ・ロ 総水管 ・ハ ・ロ (凍結防止帯巻部分)	<ol> <li>2 大便器ロータンク</li> <li>3 温水洗浄式便座</li> </ol>	・水抜き装置付 加熱方式 (・貯湯式 ・瞬間式)
暖 房 方 式 ・温黒暖房 ・温水暖房 ・FF暖房 ・ 換 気 方 式 ・局所換気 ・ ・ ・		パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルビリオス、フェノブカルブ、ダイアジノン	L L	排水管 <b>O</b> a ·	0 #	温風乾燥機能(・有 ・無) 擬音装置(・有 ・無) リモコン(・有 ・無)
映 丸 万 式         局所換丸           給 水 方 式         水道直結式         加圧式         高置タンク式(・上水 井水)	般 ⑧電気保安技術者	フタル酸ジー n ープチル、フタル酸ジー2ーエチル ヘキシル			衛 4 小 便 器 洗 浄 弁 二 5 水 栓	・不凍結装置付・感知小便器一体型フラッシュ方式・個別感知フラッシュ方式 (・埋込 ・露出)
	技能士の適用	電気保安技術者を設置する。 ② 配管(1.2) ③B 漆空気調和機器(1.2) ・熱絶縁(1.2) ・建築板金(1.2)		<ul> <li>・ 排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。</li> <li>なお仕様は d (ハ)とする。</li> </ul>	券	・節水間定コマ(・寒冷地対応形 ・ ) ・止水栓付
・建物外汚水、雑排水 (・分志 ・合流) 排 水 方 式	共 3 2 2 2 員 事 務 所 3 工事用電力・用水等	●取けない ・設ける この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。		<ul> <li>(・排水トラップ・鉛管・鋼管類・ビニール管・ドレーン管・)</li> <li>・消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。</li> </ul>	具 7 標 記 板 設 8 大便器耐火カバー	<ul> <li>・取付箇所(・大便器 ・小便器 ・ ) 材質(・陶器製 ・ )</li> <li>・設ける(ピット内は除く) ・設けない</li> </ul>
浄化槽 (・合併 ・単独 )	10 工事用電力・用水等 10 足場・さん機類	・別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 〇本工事で負担する。	L L	(・屋内消火管 ・水抜きできない管 ・スプリンクラー配管 ・ )	-	
放流先・公共下水・	-	<ul> <li>●数修工事標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。</li> <li>● 内部伝設足場等(・ 種・ 種)・外部伝設足場等(・ 種・ 種)</li> </ul>		<ul> <li>・ 圧力タンク、膨脹水槽、各種呼水槽等損板製水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる</li> <li>・ 大便器は保温する。</li> </ul>	•	
消火設備の種別         屋内消火控設備         消火器           ・都市ガス(免熱量         KJ/Mm <sup>2</sup> ,供給事業者名:         )	<ul> <li>①資材の保管</li> </ul>	資材の保管は必ず屋根をかけ地上30cm以上の架台に乗せる。		・共同溝の保温種別 (・ビット内に準ずる ・ )		
ガスの種別         ・都市ガス(免熱量 KJ/Nm²,供給事業者名:)         )           ・液化石油ガス(免熱量 100,000 KJ/Nm²)         ・液化石油ガス(免熱量 100,000 KJ/Nm²)	12 建 設 発 生 土 13 埋め戻し土・盛土				1 量 水 器 0 2 量 水 器 桝	<ul> <li>・親メーター(・貸与品 ・ )</li> <li>・予メーター(・買取り ・ )</li> <li>・水道事業者指定品(・貸与品 ・買取り)</li> <li>・標準器MC形</li> </ul>
・液化な油ガス(完勝重 100,000 KJAm)) 5.指定部分 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	事 14 山 留 長 生	根切中の山留め ・有( ) ・無		倉庫・書庫 ・アルミガラスクロス ・	給 3 弁 類	JIS又はJV ・水道直結部分(・10K ・ ) ・その他の部分(・5K ・ )
対象 部 分:	13先生村 处理	工事に先立ち予引き第2編による廃東物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃東物等処理報告書を 作成し提出する。		機械室 ・アルミガラスクロス ・ 居室・廊下など ・カラー亜鉛鉄板 ・	水 4 引 込 納 付 金 等 設 5 給 水 勾 配	・要(・本工事 ・別途工事) ・不要
Ⅱ.管理技術者等		(1)引渡しを要するもの 💽 ・有( )		西主・単下など カフー里和鉄板     歴外露出、多湿箇所 ステンレス鋼板	段 5 給 水 勾 配 備 6 建物導入部配管	<ul> <li>・不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。</li> <li>・標準図 施工4、5 (・(a) ・(b) ・(c))による。</li> </ul>
設計事務所名 管理技術者	ų	(2)引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。		<ul> <li>( )</li> <li>●配管の保温外装は下表による。(配管には、冷媒管は除く。)</li> </ul>		
(初期建築とまち研究室 間 邦則)		(3)特別管理産業廃業物 ・無 ●新 (アスペスト) (4)再利用又は再生資源化を図るもの (2ンタリート塊、アスファルト塊、木くず、金属くず、塩ビ管、)		医分 保温外装	1 洗面器等の排水管 O 2 排 水 勾 配 teth	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 壁内 ・65A以下は1/50、75A以上は1/100以上 屋外 ・1/100以上 ・
<u>主任担当技術者</u> 担当技術者 意匠担当	10文 苄入名札等	標準仕様書第1編1.7.4によるほか、バルブ類等は必要に応じて合成樹脂製名札をステンレ ス線等で取付ける。		倉庫・書庫 ・アルミガラスクロス ・ 機械室 ・アルミガラスクロス ・	排設 3 満 水 試 験 継 手 水備 4 インパート桝、ため桝	国示の箇所に取付ける。
- RE 12-1 川上 貴士	17 取扱説明板	機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字彫		居室・廊下など・・・・		梢のコンクリート部は工場製品としてもよい。
構造担当		込み程度)を設ける。大きさは、約 ㎡とする。		屋外露出、多湿箇所 ( ) ・ステンレス鋼板 ・	<ul> <li>1 弁 類 給股</li> </ul>	JIS又はJV(・5K ・10K (国示部分))
		<ul> <li>・風量調整</li> <li>・水量調整</li> <li>・飲料水の水質の測定(・水質基準検査11項目(一級細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、</li> </ul>			給設 湯備	I
複算担当		亜硝酸態窒素、塩化物付2,有機物等(TOC),pH,除,臭気,色度,満度) ・トルエン) 飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。		区 分 保 温 外 装 屋 内 高 山 ●発達化粧ケース ●含成期面が-2 目 日 中 レ フェン・フロケー ● 第二番の 日本 日本 日本	O 1 屋内消火栓箱 消設 2 建物導入部配管	<ul> <li>・HB-1A</li> <li>・HB-1B</li> <li>・標準図 施工4、5(・(s)</li> <li>・(b)</li> <li>・(c))による。</li> </ul>
	19日日年の表示	(1)機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。		産 77 路 山 ・ × / ジレス州似 ● 株面10 柱 / 一 ×	火備	
電気設備担当		(2)電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。 機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。	33 防 凍 保 温	・屋外露出部(総水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、 弁類)は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする	O 1 シ ス テ ム 町巻 2 埠 半 の 土 ユ	<ul> <li>・ドライシステム</li> <li>機能寸法とする</li> </ul>
		耐酸措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐酸設計・施工指針		・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、	機 備	
		2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 (1)設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量)		弁類)は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は32に準じる。 ・各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。())	1 充てん容器 2 集合装置	<ul> <li>・別途(・50kg・)</li> <li>・標準図 施工72による 本組。</li> </ul>
片岡設計事務所 片岡 明		に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。	<b>6</b> 9 x x	(1)各種配管の試験は、新設配管に適用する。	<ul> <li>3転倒防止等</li> </ul>	・標準図 施工73(・(a) ・(b))による
			35 他工事との取合い	(2)新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。 配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、枠入れは本工事とし、他は工事区分表による	ガ 4メーター	・親メーター(・貸与品 ・ ) ・子メーター(・買取り ・ ) ・本工事(図示による) ・別途工事
II. 工 事 仕 様		設 室 場 所 ・特定の施設(・甲類 ・乙類) ・双一般の施設(乙類) 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器	35 他工事との取合い 36 そ の 他	保険等の各種措置については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。	投合司马角组会	・要(・別途工事 ・本工事) ・不要
<ol> <li>共通</li> <li>任様</li> <li>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕物の「公共建築工事標準仕様書(機械設備</li> </ol>		上層能、屋上及び塔屋     (2.0)     (2.0)     (2.0)     (2.0)     (1.5)	1	(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)	備 7 電 気 防 食 8 建物導入部配管	・要 ・不要 ・標準間 施工4、5(・(a) ・(b) ・(c))による。
工事編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(		(2.0) (1.5) (1.6) (1.0)	H			
令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。)による。		中間際         1.5         1.0         1.0         0.6           中間際         (1.5)         (1.5)         (1.5)         (1.0)	<b>①</b> 段計温温度	外 気 屋 内 一 般 系 統	<ul> <li>しゅん工時提出物</li> <li>2 定 期 報告</li> </ul>	標準仕様書によるほか別表-2による。 工事しゅん工後3ヶ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で教育委員会あて報告する。
(2)電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の		(1.5) (1.0) (1.0) (0.6)		温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH)		(管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。)
エ事仕様は適用しない。 参考図書		1.0 0.6 0.6 0.4	Ξ.	夏季 33.4 °C 52.9 % 28.0 °C 50.0 % °C % °C % 冬季 -6.1 °C 71.2 % 22.0 °C % °C % °C %		別添「建築工事における電子納品特記仕様書(試行用)」による。
参考図書 ●長野県営繕工事の予引き(以下、「予引き」という。)(令和3年版)長野県建設部施設課監修		地下階、一階 (1.0) (1.0) (1.0) (0.6) (1.5) (1.0) (1.0) (0.6)	調 和 2 居室騒音限界	下表によるほか、耳ざわり音がないよう機種選定およびダクト消音対策を行う。		(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書) 特別管理産業廃業物の処理に当たっては、廃業物処理法に基づき特別管理産業廃業物管理責任者を
2.特 記 仕 様		<ul><li>(注) 1. ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。</li></ul>	12 IX	室 名 A 特性 (dB) N C 値	管理责任者	
(1)章は●印の付いたもの、項目は番号に〇印の付いたものを適用する。 (2)特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。		<ol> <li>く 〉内の数値は水塘類に適用する。</li> <li>上層階の定義は次による。</li> </ol>	19			を有することの証明となる資料を提出する機材等
		2~6 階建以下の場合は最上階、7~9 簡建の場合は上層2階	03煤煙濃度計	- 設ける ・ - 設ける ・ - 設ける (潮空口は80点とする) -		よる「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等
● 機 材 等 (1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用す		重要機器とは下記に示すものをいう。 ・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制砌設備・危険物貯蔵装置	☆ 4 ばいじん量測定ロ 歳 5 煙 道	停縮継手、掃除口及びばい煙量測定口の位置は図示による。		
る。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ整		<ul> <li>火を使用する設備・避難経路上に設置する機器・</li> </ul>	暖 6 ダ ク ト	<ul> <li>・低圧ダクト</li> <li>・高圧1ダクト</li> <li>・高圧2ダクト</li> </ul>		
督職員の承諾を受ける。 (2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この	②あと施エアンカー	(2)設計用鉛直地要力は、設計用水平地要力の1/2とし、水平地要力と同時に働くものとする。 改修工事標準任禄書第2編第5章による。	設備	<ul> <li>・アングルフランジエ法</li> <li>・スパイラルダクト</li> <li>・コーナーボルト工法(・共板フランジエ法)</li> </ul>	(別表-2) しゅん工時福日	Oその他監督職員の指示によるもの           出物(〇印を付けたものを提出する。作成方法は予引きによる。)
証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し	-	確認試験は、・性能確認試験(本)〇毛工後確認試験(本)を確認強度[4.0]Nにて行う。	備 7 風量測定口	取付部は国示による。	1 提出書類等目錄	⑦ 官公署届出書類等
監督職員の承諾を受ける。 1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること。	(2)% ± %	●日エ士の適用(第1種、第2種)あと施工アンカー施工士による。平田日本部第3人間エアンカー協会認定時期 吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする	O 8 チャンパー 扉	<ul> <li>(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。</li> <li>(2)空気調和機、温風暖房機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系でお</li> </ul>	a ② 完成図 (原図・製本・	<ul> <li>CADデータ)</li> <li>図 工具・予備品等</li> </ul>
2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。	23 配 管 勾 配	給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向	房	音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。	<ul> <li></li></ul>	
3)安定的な供給が可能であること。 4)法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。	24 管の保護	かって下り勾配とする。 コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、ブラスチックテーブを1/2重ね 1 回巻きと	設備	(3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは、雨水の滞留のないように当 工する。	<ul> <li>E 工事施工関係書類</li> <li>E 工事完成資料</li> </ul>	10 該運転用油等( )の納品書写
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあって		する。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により沈下防止措置をする。 土中埋設管(排水含む)は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。	価 9 防煙ダンパー		<ul> <li>① 工事完成资料</li> <li>⑥ 保守管理资料</li> </ul>	● その他監督職員の指示によるもの又は特記によるもの
6)販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。	·> B W 理 設	土中埋設管(排水含む)は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。 総水管、消火管の埋設深さは mmとする。又、ガス管の埋設深さは mmとする。		~ = // IPA, V V IPAR F & Y 0 :		2計図面に準じて作成すること。
		丁事名	00 14 m m m m	T		年月日 No.
🜒 長 野 県 産 業 労 働 部		長野技術専	門校空調設備改修工	上争 an market 1, 1, 1, 10 LL 11 本章		R04 • 12 • M-01

長野技行	所専門校空調設備ほか工事 解体工事仕様書	5. 屋外設備等	電社の撤去 ・行う(※調示 ・ ) ・行わない 外灯の撤去 ・行う(※調示 ・ ) ・行わない	<ol> <li>特別管理産業廃棄物の処理</li> </ol>	特別管理産業廃実物の種類         仕様数量         備考           ・廃石線	3. 腦音、振動調査	調査の有無 ※無 ・ 有 調査方法については設計図書による。
I 解体工事概	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6. 解体後の整地	解体表の理要し及び盛土 (3.11.1) ・行う 整地高さ		· 廃在時     · 廃油     · 廃散     · 廃散     · 廃放     · 廃放	4. 土壤調查	調査項目 ・土壌調査 ・土壌調査 (含有量試験) ・/มz1/4や油出調査 ・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。
1.工事場所 長野市			19:00mで ・現状U ・行う(※留示 ・ ) 埠屋し及び癌士の材料		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	⑤官公庁その他への	副国面所については取る国面による。 (1) 工事の素干、施工、完成にあたり、開係機関への必要な干練等を遅延なく行う。
2. 敷地面積 (m <sup>2</sup> )			・山砂の類 ・他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び産土に当たっては、各層30cm程度毎に締め間めること。		※監督員の承諾する施設 ・図示 ・現場説明書による	届出于核等	(2) 前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。
3.除却対象物	・建築物 ・工作物 ◎建築設備 ・家具等 ・樹木 ・その他		・行わない	3. PC8を含む機器類	5)渡しを要する機器類 ・ (5.4.3)	6. 疑義に関する協議等	設計図書に定められた内容に蹉養が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によるこ とが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。
除 却 対 象 到 技術専門校		<ol> <li>機械設備及び電気設備 の切替・遮断等</li> </ol>	機械設備(総体水管設備、消化設備、ガス設備等)及び電気設備(備内配電線等)の切替・道斯等の工 事を行う者 ※協会和が同正事の許可意意でない場合は、同工事の許可を取得している者に委託する。 (長野県建設工事入札争加資格者のうちから監督職員と協議して委託する)	4. PC8含有シーリング材	協会力法 (5.4.4) ※(福泰匙工芸優章(日本シーリング工事業協同組合連合会/日本シーリング村工業会)」による。 要表表題 ※原示	7. 文化財その他の埋蔵物	工事の拠工にあたり、文化封その他の埋蔵物を免見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。 その後の創室については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の免見者としての模判は、法律の定 めるところにより、免注者が保有する。
Ⅱ 解体工事位	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1. 再资源化等	(4.4.1)      接診療業物の種類     中間処理施設又は再登測化施設等	5.特殊な建設副産物の 改修及び処分	ペム 宅山 ハーロー     (5.5.1)     回収支 び処分を行う特徴な 対象機器名称 回収業者又は 保管場所の名称	8. 埋蔵文化財調査	「周知の理意文化財包織地」の該当 ・該当する ・該当しない 据州作業時の啓営委員会後の立会い ・ 有 ・ 無 単電文と財間高の時期 ・ 新体工事中
共通仕様 交通省大	日間 1時記代紙にと加えたれていない事項は、全て原土交通会大応官府官庁支援部定様「協変物解体工事 度(商新田)(以下、「物合井仁しとのも、)により、「教合井仁に同意うたていない事項は、満土 工業 支援者庁支部部定成本の基準工業事件(基定工事項(通信 (通信)(以下「信任」という。 5) 1度混合学工事成本仕様書(道理工事単価)(通行)(以下、「改修得任)という。)による。 500 500 500 500 500 500 500 50		-3.2.2 / リート         市営賃員の非正する協士         成年         原規収得書による           -2.7/1-2 / 以換からなる短期度対         (第二日、「「」」」」         第二日、「」」」         第二日、「」」」           -2.7/1-2 / 以換からなる短期度対         (第二日、「」」」」         第二日、「」」」         第二日、「」」」           -2.7/1-2 / 以換からなる短期度対         (第二日、「」」」         第二日、「」」」         第二日、「」」         第二日、「」         第二日、「」」         第二日、         第二日、         第二日、	GARDAGO NE J	取取は変形の構成         防気振行の         防気増小の名布         加気気の           ・フロン         10室道泉の発展する単の、空気着の及展する単の、空気着の及展する単の、 ・パロン         10室道泉の発展する単の、空気着の及展する単の、 ・パナンに式想知器         10室道泉の発展する単の、空気着の及展する単の、 ・パナンに式想知器         10室道泉の発展する単の、空気着の及展する単の、 ・パナンの名集(15%)         10室道泉の発展する単の、空気着の及展する単の、 ・同葉道泉の発展する単の、空気着の及展する単の、           ・パカンの名集(15%)         11         10室道泉の発展する単の、空気者の及展する単の、 ・同葉道泉の発展する単の、空気者の表展する単の、         10室道泉の表展する単の、空気者の及展する単の		
<ol> <li>特記仕様 (1) 項目は</li> </ol>	書号に○印の付いたものを適用する。		・アスファルトコンクリート         ※監督員の未確する施設         回示         現場説明書による           ・金属類         ※監督員の未確する施設         回示         現場説明書による				
<ul> <li>(2)特記事</li> <li>①印の</li> <li>①印と</li> </ul>	は、○回の付いためを表面する。 うかの付いた場合に美術の付いためを差面する。 うかの付いた場合は、用に表面する。 Nに記載の()外の表示番号は、解体共社の高級項目を示す。		・     ゆニス電池	<ul> <li>         ・別紙建築特記仕様書によ         <ol> <li>アスペスト含有 分析調査</li> <li>アスペスト含有 イント</li> </ol> </li> </ul>	ウ ク     分析による理想 ・下覧による ・ 原示 (6.1.3) 村 村 名 現在力法 分析を行う思所 備 考 (141杯あいとりの証料的) - 原要の の変質的多に(33 - 1) - 原要系 ・学量多単体(33 - 1) - 世上載による	<u>解体工</u> 配管保温材・ダクト バッキンの除去	・事特 起事項 配管電温料・ダクトバッキンの除去(石橋舎有電温料のない部分で切断し、燃包の上期出する。 この力加は、買い付けられた石橋舎着電温料そのものの除去作業を行っているものではないが、 建国物客から石橋舎有電温料をが取り除かれることから、石橋創質を急における「除去」に該 出することになる(中和)1年4月7日素を完全第2010日)
章項目	特 記 事 項	<ol> <li>2. 現場利用する再資源化 された建設廃業物</li> </ol>	(4.4.1)	へ ト 含 有	※定性分析(※3 · )         ※読示           ・定量分析(※3 · )         ※読示           ※定性分析(※3 · )         ※読示	<ul><li>(1)作業フロー</li></ul>	(本) ジレニト・シン (ボル・バー・リアシンゴ 並太に元本 かくどのシック) 「建築物の解体等工事における石綿粉じんへのばく置防止マニュアル」(建設素労物災害防止協会)参照 (本約 調査)・工事計画 ・要 後書の 作成
1 ①適用基準等 一 般				材の除去	・定量分析(※3 ・)         ・仕上表による           ※定性分析(※3 ・)         ※屈示           ・定量分析(※3 ・)         ・仕表による		<ul> <li>建築物解体等作業届(作業開始前まで)(第4章1参照)</li> <li>資材の準備</li> </ul>
共 通 事 項	●公共建築2時本年年代修葺(建立工事編 ● 定参設置使業工業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業業	3. 産業廃棄物広域認定 制度の活用	(4.4.2)	等 2.73ペスト粉じん	分を方法 JIS AIGT 連相製品中のアスペスト音楽事測定方法による 分析結果については、監督職員に提出すること。 アスペストをじん過業業定 (6.1.4)		(準備工事)(1) 電板の意示・作業員体培所の確保 - 事前の清掃(1059) てルター付置反道指除機) - 更衣放蕩、浅面設備、真空掃除機の用意 (2) 要生・定場構立(用広、可留作業会),用官及場、ローリングタワー) (2) 管理温料・ダクトバッキンに結本ない作業の場合は、レベル3、熱れる
		<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	名称         最終処分場の種類 数量 備 考	2 アスペスト粉じん 濃度測定	「ズイベスト的しん潮度潮淀 (b. 1. 4) 潮定場所 ※図示 測定点 ※図示		可能性のある場合はレベル2に対応する呼吸用保護具 の着用(该5章奏5-1)) (除去作業)・・保護及・レベル2に対応する呼吸用保護具の着用
2. 電気保安技術					アスペスト粉じん濃度測定方法 アスペスト粉じん濃度測定はUIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-毎1部:光学顕微鏡法及び走査		(第5章表5-1、5-3) ③次項の除去方法による
<ol> <li>施工条件明示</li> <li>4. 引渡しを要す</li> </ol>			- 72x <sup>2</sup> 北合有成形板 ※安定型 ·		アスペスト粉じん混成消定(ばい)S K3500-1 空気中の細糖状植子消定方法-第1部:光子脱微鏡法及ひ走金 電子鏡鏡鏡法)による位相差・分散鏡微鏡はによる。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業電貨測定機関とする。		〔石綿処理〕④ブラスチック袋詰め又はプラスチックシート厚さ0.15mのもので包む(二重) ・特別管理是業務実物として搬出・私分(12)り→国化処理)又は飛離委とした作業場内で整合売とし、保温材及びダクトバッキンのみを特管定廃として処分
4. Jink 0 2 34 9				3.72ベスト含有吹付け材 の除去(レベル1)	(6.3.2) (6.3.2) がたくしたいで、「「「「「「「「「」」」」」」、「「」」」、「「」」、「」」、「」」、「」」		
5. 解体工事施工	まエ 本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の遺任等に配慮すること。	5. 処理に注意を要する 建設廃棄物	名称         仕様         数量         項考           ・特容器石音ボード		除去物及び汚染物質等 ※密封物理(二重要報色)   両器要生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ 等についても出物調準を行う。	(2)除去工法	╞╟═┑╺┢═╢═╴ ║
2 1. 騒音·粉塵等	ン対策 ・防容パネル ・防容シート ・財営工事による (2.2.1) 投資素問題なび高さ (2.2.1)			4.73ベスト含有保温材等 の除去 (レベル2)	キについても面対処理を行う。 アスペスト含有保温材等の除出方法 修林米社6.4.2による圧が、影位・内容に応じた除出は専門工事業者の仕様で監督職員の采居するもの		
仮 設 工 事	※顕示 ・ 数水方法 高圧ポンプ等(数水員1名以上常粧)		※監督員の采諾する施設 ・四奈 ・現場説明書による 「特定廣石青ボード」とは、次の工場で製造された石青ボード製品が廃棄物となったもの。		とする。 除水物及び汚染物質等 ※石線合者のエルボ、チーズ等を場部よりそれぞれ10cm程度切断し、シートで二重個包し、現場内に除去施設		1         切断         石綿舎         切断         石綿舎           五綿舎         工         配管エルボの事例
2. 監督員事務所	※設ける ・設けない (2.3.1) 規模 ※10mf程度 ・20mf程度 ・ ( ) mf程度		③①●東源入石雪ボード 商品 名:タイガーボード 工場 名:小名浜百野石貴綱いわき工場 裏面表示マークは「百野石膏0Y」		を設置して除去処理を行う。(除去施設はレベル1)	_	ター ダクトパッキンの事例
3. 工事用水 4. 工事用電力	横内既存の施設 ・利用できる(※有爾 ・無償) ※利用できない 構内既存の施設 ・利用できる(※有爾 ・無償) ※利用できない		製 達 期 間:昭和45年3月~〒成5年4月 」(5)許雪雅号: 271053 ロット番号: 03730000000000000000000000000000000000	(3) 1,1 含有成形板 の除去(レベル3) ダクトのシール村	アスペスト含有成形板の除去方法 (6.5.2) 解状状性5.5.2によるものとする。 ※石綿含有のダクトパッキンはフランジ部分を左右10cm程度切断し、シートで二重催包し、現場内に除去施設 を設置して発気現準を行う。(除水能設はレベル)	ε.	マランジ前後100mm程度の部分で切断 使用機器及び材料 ケレン様、カッター、エアレススプレイヤー、HEPAフィルター付真空撮除機
			商 品 名 :アドラせっこうボード 工 場 名 :日東石音ボード微八戸工場 裏面表示マークは「日東石音ボード株式会社」	つ 〇 工事現場の環境	工事現場のイメージアップ		<ol> <li>配管エルボの石綿部を滑散防止の為、養生する。</li> <li>直管信所を石綿部に触れない位置で切除する。</li> <li>切断したエルボ部をポリエタレンタモン重に縮包し、密封した上で石綿の表示をする。</li> </ol>
3 1. 秋の解体 解 体	<ul> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> <li>(3.8.2)</li> <li>税効爆株工法</li> <li>・列換査工法</li> <li>・破砕による解体</li> </ul>		製造期間:平成4年10月~平成9年4月 JIS時可要号: 255023, 255024 ロット番号: AV410~A6430	さまたついて その 他	<ul> <li>・ 仮囲い周辺の美化</li> <li>・ 地域住民への情報提供</li> <li>・ パンフレットの作成</li> </ul>		③ 廃棄物の搬出(特別管理定業廃棄物(使石綿等)として搬出ーコンクリート国化(中間処理)) ⑤ (知の圧め、プラステックシート等により開催要生し、IFBAフィルクーを構成人負圧化しん機に より負圧とした作業場において、保温材を騒ぎ落とし、掻き落とした保温材等を特管産廃とし て知分する方式がある。
加 工 2.樹木等	樹木の伐俣抜模及び移植 (3.9.1) ・行う(※図示 ・ ) ・行わない	1. 施工調査	(5.1.3)		住民に対する以害的よ間係 ・現場出入口周辺への誘導員の配備 ・		⑥ Siにより処理する場合には、隔離方法及び隔離内作真における呼吸用保護具・保護衣・美生撤去・清掃等の作業はレベル1対応とする。 オ/滑等の作業はレベル1対応とする。
3. 地下埋設物 ・埋	地下理設物品び理設配管の解体 (3.10.1) 教育 記管 ・行う(※図示 ・ ) ・行わない		分析調査を行う特別         採取する動位         採取する数量         備考           管理産業産業物等の種類         又は協所等         -         -           ・         -         -         -         -	<ol> <li>              金楽廃棄物の             取扱いについて      </li> </ol>	産業業業物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。 (1) 微出された産業廃業物の知識状況記録 () 処理の会部又は一部を委託した場合		
4. 設備機器等	解体事前処理(油類タンク) ※選示による 第		- 30所 - 30所 - 30所		7 収集運搬車両ごとの産業廃業物管理票(以下「1:1:1:1)という。)A業、22業、0業及2業(建工の 場合は24美を知える。)の写し、建設廃業物理委託契約部の写した10年間人類体内の整星業計表 者をは24美を知える。)の写し、建設廃業物理委託契約部の写した10年間処理施設の実施器及び中		
	・解除に免な5、燃料総営、燃料他、燃料の出潮等に発油がないことを確認する。必要に応じて発油を 後き取り、燃料を土壌に流出させないように注意する。 ・燃料機、燃料や出潮は、洗浄のうえ中和効果を行う。 解体を新処理(冷塩)		PC8合有シーリング分析調査 (5.4.4) ・第一次利定 現場にてサンブルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を料定する。		間処理状況の写真) ② 請負者が自ら処理した場合 ア 12-2124に第じた解体材の種類ごとの数量集計表 イ 最終長分場の高内閣及び係分状況の写真(中開処理にあっては中間処理施設の高内閣及び中間処		
※誤声による     ・ 冷漠を経州観にポンプダウンした後、撮点を行う機器		a man	・第二次相定 専門分析機関にてROI含有量の分析と行う。 絶縁追のROI含有量の分析は、1特別管理の総要素物及び特別管理定重要要物に係る基準の検討方法( 平成はFJF3回居室名者示策IN名)」又は「絶縁基中のボリ塩化ビフェニルの分析力法規定(電気耗明度		環状況の写真) ③ 特別程度重要素物の場合 () () スはなごはずる。ただし定業原果物管理度とあるを特別管理症素検索物管理原と読み替える。 () スはなごはずる。ただし定業原果物管理度とあるを特別管理症素検索物管理原と読み替える。 (4) 定要素素素的の写真的に実現状況記録 用で言意用中の学家本集に記録する本項	●長	野県産業労働部
	<ul> <li>・冷煤を回収した後、級去を行う機構</li> </ul>		定。E&C1201-1991)」により行う。 焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃業物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防		サニススペイ内に実現の設置にし起うりやすべ 発生温、激出た各株、区グ、加工条件の内容、撤出先名株、運搬回離、撤出先の経営等 (三) 工業有手約の現場会景、周辺及び対象建築物等の現況写真	図面名和	东 解体工事特記仕様書
	國 面 番 号 記 号		止対策要綱(平成13年4月25日付基安発第20号)」により行う。		<ul> <li>② 伝説物、安全措置状況及び工程写真(除却作業状況、埋設配管等及び基礎類は入念に撮影すること。)</li> <li>③ 使用機械類</li> </ul>		年月日 図画番号
		1		1	<ul> <li>(4) 斉棠廃棄物収集運搬車面への結込み時及び結除し時の写真</li> </ul>	1	平月日 国際番号



面積表	
管理棟	1.427 m <sup>1</sup>
画像処理印刷科·木造建築科 実習室棟	1.138 m <sup>1</sup>
電気工事科 実習棟	545 m <sup>1</sup>
寄宿舎棟	136 m <sup>*</sup>

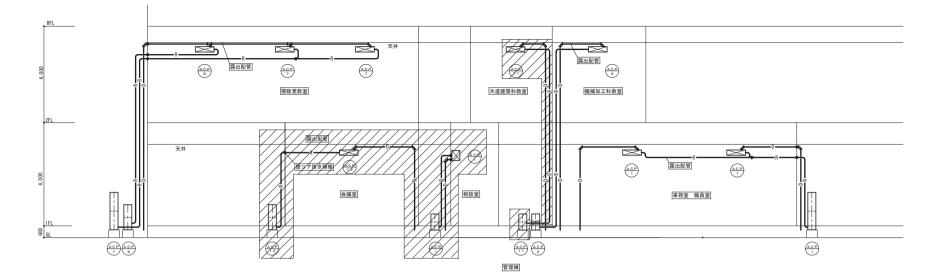
下記の安々の空調設備の設置	
	就加工科教室、視聴覚教室)、画像処理印刷科・木造建築科実習室(建築科製図室、画像処理印刷科実習室)
、電工事科実習棟 (実習室南)	
但し、管理棟(相談室、会議室	E、木造建築科教室)、電気工事科実習棟(実習室北)、寄宿舎棟は将来工事とする。
改修に伴う不要な機械設備の撤	<b>教去及び処分</b>

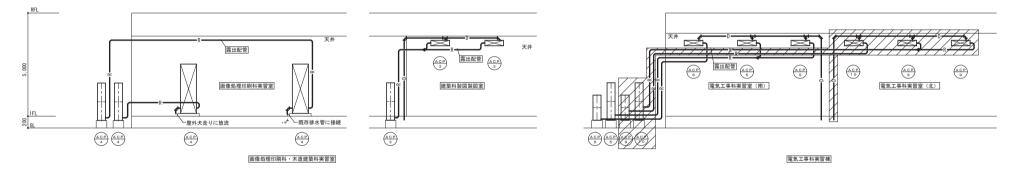


	特記事項	1	日付    名	称	<b>図</b> 名		縮尺
		1					A1:1/500
		▲		長野技術専門校 坚調設備改修工事		案内図・配置図	A3:1/1000
SPACE CREATI		↓ ▼ 天北 示 庄 未 刀 測 叩	· · ·	明法你!士士在你会	CHECK	DRAW	570.046
SEK		-	· · ·	岡 運 梁 十 ま ら 研 究 至	ULLON	Divisi	N-02
ULI	A			SPACE CREATION SEKI			# 05

			1		1	1							
記号	名称	設置場所 階 室名	型式	機器仕様	台数	種類	容量	電動機 台数	相	電圧	極数		備考
A C P - 1	空冷ヒートポンプエアコン	1 事務室 職員室	高効率形 APF(2015)5.0 天井吊形 同時ツイン 冷蝶:R32	滝房能力:20.0KW (JIS条件時) 暖房能力:22.4KW (JIS条件時) 液晶ワイヤードリモコン ドレンアップメカ(機内組込形) 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	1	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	4.61KW 0.23KW	1 2 2	11≊ 3 3	200 200	100.94		室外機基礎:建築工事
ACP-2	空冷ヒートポンプエアコン	2 機械加工科教室	高効率形 APF(2015)5.5 天井吊形 冷媒:R32	冷房能力:10.0KW (JIS条件時) 暖房能力:11.2KW (JIS条件時) 液晶ワイヤードリモコン ドレンアップメカ(機内組込形) 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	1	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	1.95KW 0.19KW 0.15KW	1 1 1	3 3	200 200			室外機基礎:建築工事
A C P-3	空冷ヒートボンブエアコン	1 建築科製図室	高効率形 APF(2015)4.7 天井吊形 同時ツイン 冷媒:R32	冷房能力:25.0KW (JIS条件時) 暖房能力:28.0KW (JIS条件時) 液晶ワイヤードリモコン ドレンアップメカ(機内組込形) 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	1	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	0. 23KW	1 1 2	3	200 200			室外機基礎:建築工事
A C P-4	空冷ヒートポンプエアコン	1 画像処理印刷科実習室	高効率形 APF(2015)4.4 床置形 冷媒:R32	冷房能力:20.0KW (JIS条件時) 暖房能力:22.4KW (JIS条件時) 液晶ワイヤードリモコン 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	2	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	4. 61KW 0. 30KW 0. 26KW	1 2 1	3 3	200 200			室外機基礎:建築工事
ACP-5	空冷ヒートポンプエアコン	1 電気工事科実習室(南)	高効率形 APF(2015)5.0 天井吊形 同時ツイン 冷媒:R32	冷房能力:20.0KW (JIS条件時) 暖房能力:22.4KW (JIS条件時) 渡島ワイヤードリモコン ドレンアップメカ(機内組込形) 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	1	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	0. 23KW	1 2 2	3 3	200 200			室外機基礎:建築工事
A C P-6	空冷ヒートポンプエアコン	1 電気工事科実習室(南)	高効率形 APF(2015)5.5 天井吊形 冷蝶:R32	治房能力:10.0KW (JIS条件時) 暖房能力:11.2KW (JIS条件時) 渡島ワイヤードリモコン ドレンアップメカ(嶺内組込形) 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	1	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	1.95KW 0.19KW 0.15KW	1 1 1	3 3	200 200			室外機基礎:建築工事
ACP-7	空冷ヒートポンプエアコン	2 視聴覚教室	高効率形 APF(2015)5.0 天井吊形 同時ツイン 冷媒:R32	冷房能力:20.0KW (JIS条件時) 暖房能力:22.4KW (JIS条件時) 渡島ワイヤードリモコン ドレンアップメカ(機内組込形) 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	1	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	4.61KW 0.23KW 0.15KW	1 2 2	3 3	200 200			室外機基礎:建築工事
ACP-8	空冷ヒートポンプエアコン	2 視聴覚教室	高効率形 APF(2015)5.5 天井吊形 冷媒;R32	冷房能力:10.0KW (JIS条件時) 暖房能力:11.2KW (JIS条件時) 液晶ワイヤードリモコン ドレンアップメカ(機内組込形) 平置台(メッキ 300H) 付属品一式	1	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	1.95KW 0.19KW 0.15KW	1 1 1	3	200 200		, , , , , ,	室外機基礎:建築工事
	₽₩₽₽₩₽₽₽		武功年刊 Aケ 戸 (2015) 4.7 天井理込力ガット形 同時ツイン 市場: 戸32	方号をガ・ヹち/0 KW / 5 /5 ダ代所    変現紙力/ 26 /5 KW / 5/1 85所時    浅風力イヤーメリモコム   ドレジブクブナオ (城内絶辺地)   平差台 (メッオ 80/6 H)   付属品一文		室外機 comp FAN 室内機 FAN	0,23KW 0.15KW	2/2/		208			室外機差碳: 珍荣文集
AC 7-16	─────────		高約事形 APF 12 Ø 15) 5.8 天井道込力 女ッソ形 冷線 :R 3/2	冷伤破力, / パ ダ いが、 / パ ダ (水),   (成) ( 水)		室外機 COMP FAN 室内機 FAN	2. 45KW 0. 19KW 0. 15KW			200 280			≆外搬基礎:/建築工 <b>承</b>
	┲╖ᡄᠨ᠂ᠷ᠋ᡔ᠋ᠮᠴᡗᡟᠴᡃ	2 本造建築科教室	高効率形 みやす (2015) 5.5 天井吊形 冷峻: 532	方資金ガ:10~0メル/ いいいを作所    蒸気差ガ:ソリクビル/ いいいを作所    海燕 7 オーチリモコン - メレンブクブチガ (通内絶込な)   平差台(メッチ よりつけ) (対風日-文		室外機 COMP FAN 室内機 FAN	/ 0/19KW			208 200			室外機差碳: 邊築文集
*/C 7-1/2	Ÿ≈v-×≈b⊐≠≤₹⇒>		高物事作 A. PF (2,01,5),5,5 美共希刊 冷燥, R 2 2	注信単方/ 1.6、54.54、1.51、55.5453)   周囲岩カ / 1.7、24.54、1.5.75、54.945)   周囲台 / ヤイドバ マニュ ・ビジオ / 万/ 瑞介線公認) - 斉聖台 /メッキモ、3.6.54-2、158-45		室外機 COMP FAN 室内機 FAN	1.85KW 0.18KW 0.15KW			200 280			室外城基礎,建築工業
	м-ц <u>т</u> тр:///		康冷他は株 か 戸 (2015) g. 2 壁描形 夼嫂: 〒32	(1)可転対、2, 8(5)4、3,3 5,45(45)) (第39歳)、3、5(5)4、5(5)5(2)(4)) (浩浩(イオレズリモラン) 米君左(15,45-3,65(4)) (地片電信/元)		室外機 COMP FAX 室内機 FAX	8. 75KW 0.046M 0.85KW			200 /200			室外機基礎:建築工事
*07-2	╶┉─к≖त╼┾╸/ / /	1.12 穿信者铝座	 第 第 第 世 本 デ F 2 0 1/5) / 6 / 2 歴 時 済 課 八	済気能力/ 2/2 KW/ (J \6 S4代射)   現荷設力 /2 /5 KW/ (J \ 5 S4代射)  海湖づ オヤ(J J) ジュナー他内襲血ノ虫	6	室外機 COMP FAN 室内機 FAN	0, 60KW 0. 08KW 9. 04KW			100 100			Ź竹/板基础 /建菜工本
w#e-1			旅改電力8時間(通電射御型) 始濃専用545 角形 標準圧力型	ケックガ型/ _ /ち g L / 施準行業品/北		HEATER	12. 19KW			290			建設省告示第1588月対応の 設置方法をとる
_,_,_/													

	特記事項		日付名利		<u>뗂名</u>	縮尺	
				目期甘水市的抗灾和抗进水水工事	機器表	A1:	
SPACE CREATION		● 長野県産業労働部		<b>文时仅则夺门权主间改调以修工争</b>	现值改	A3:	
		1 5 5 7 1 2 7 3 6		関 建 築 + ま ち 研 究 室	CHECK	DRAW 図番	
SEKI				SPACE CREATION SEKI		M-O	J4





将来工事を示す

管サイズは平面図参照 系統図

<u>(111)</u>	

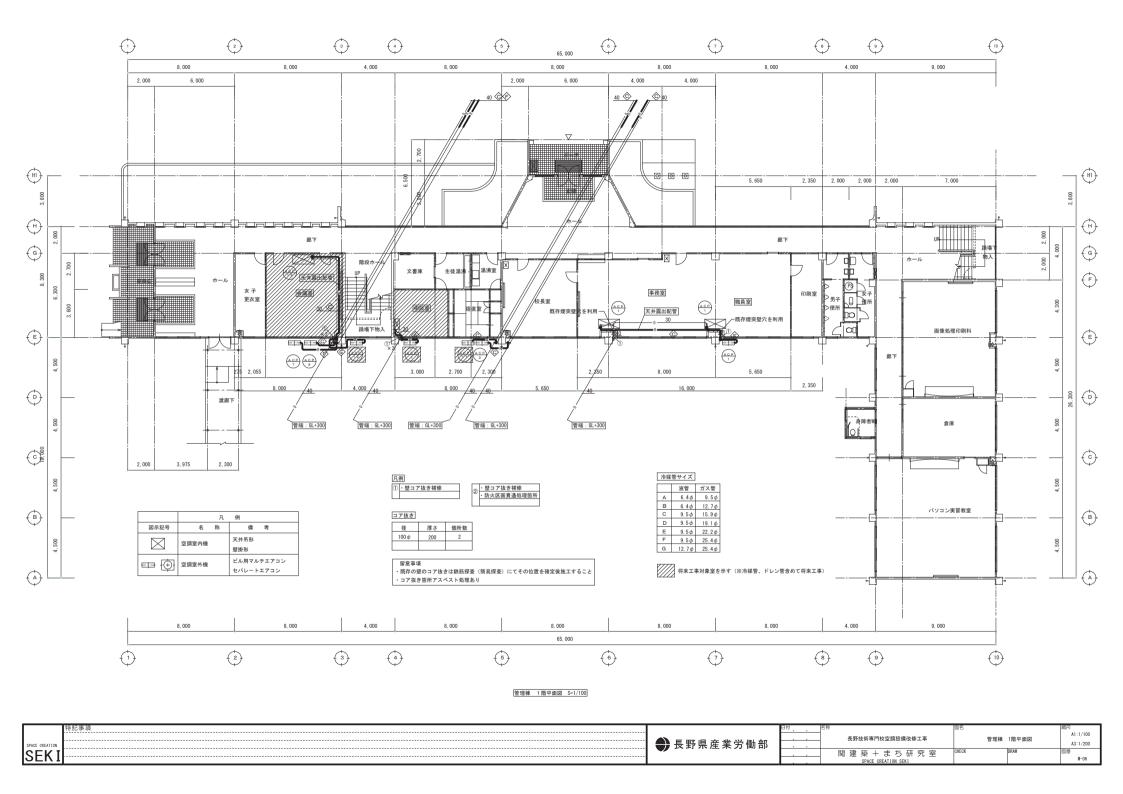
凡例		
記号	名称	仕様
R	冷媒管:火無し配管工法	冷媒用被覆鋼管 JCDA0009(日本鋼センター規格) 保温厚:液管10mm以上・ガス管20mm以上
D	ドレン管	結露防止層付硬質塩化ビニル管 ACVP 屋内露出
		硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 VP 屋外露出・隠蔽

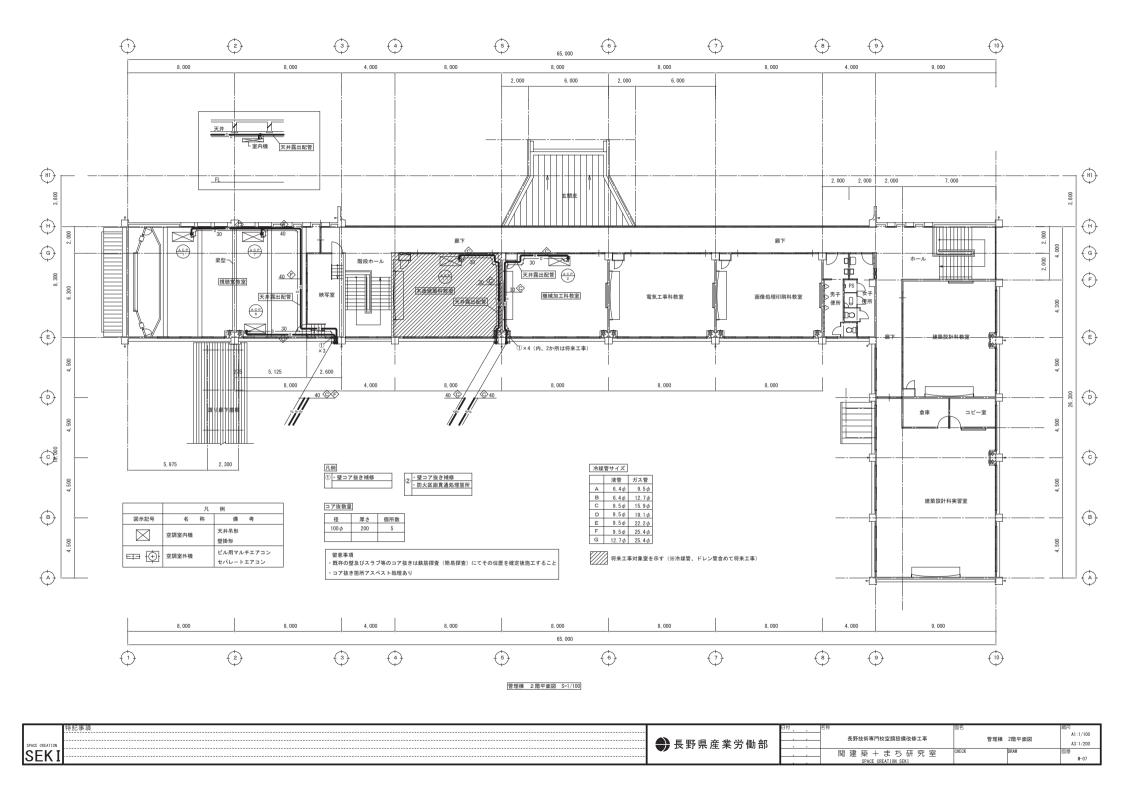
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	  長野技術専門校空調設備改修工事	図名 系統図 CHECK	lon w	縮尺 A1: A3: 図番
 	 SPACE CREATION SEKI			M-05

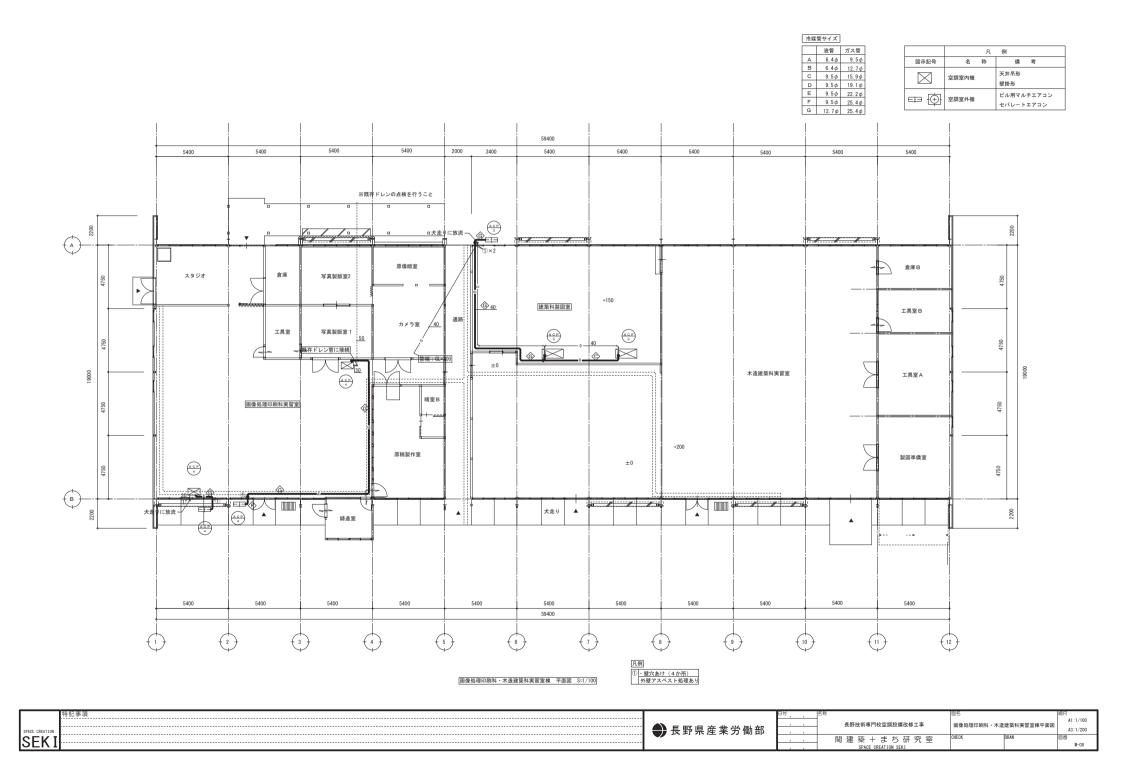
記事項

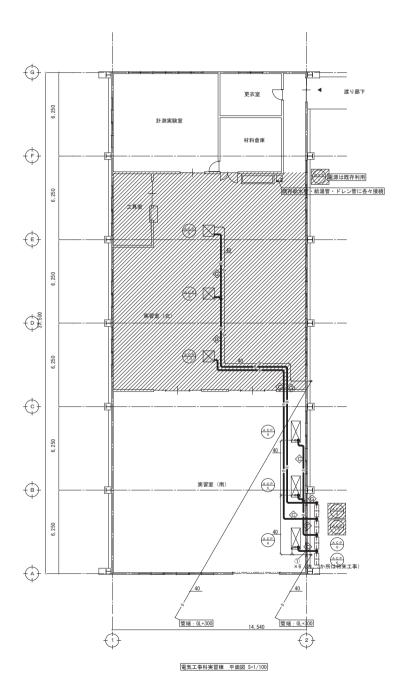
SPACE CREATION

.









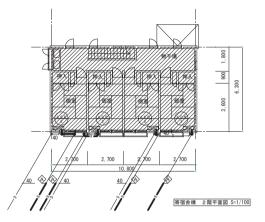
	凡 例						
図示記号	名 称	備考					
$\square$	空調室内機	天井吊形 天井埋込カセット形					
₽ ⊕	空調室外機	ビル用マルチエアコン セパレートエアコン					

冷媒管サイズ							
	液管	ガス管					
А	6.4¢	9.5¢					
в	6.4¢	12.7¢					
С	9.5¢	15.9¢					
D	9.5¢	19.1¢					
Е	9.5¢	22. 2 ¢					
F	9.5¢	25.4¢					
G	12.7¢	25.4¢					

凡例
 ① ・壁穴あけ(3か所)
 外壁アスベスト処理あり

将来工事対象室を示す(※冷媒管、ドレン管含めて将来工事)

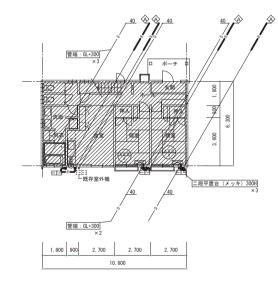
	特記事項		日付	名称	<b>図名</b>	縮尺
				長野技術専門校空調設備改修工事	雷気工事科寧習積平面図	A1:1/100
SPACE CREATION		● 長野県産業労働部				A3:1/200
				関建築 + まち研究室	CHECK DRAW	図番
SEK				SPACE CREATION SEKI		M-09



冷媒	冷媒管サイズ							
	液管	ガス管						
A	6.4¢	9.5¢						
в	6.4¢	12.7¢						
С	9.5¢	15.9¢						
D	9.5¢	19.1¢						
E	9.5¢	22. 2 ¢						
F	9.5¢	25.4¢						
G	12.7¢	25.4 ¢						

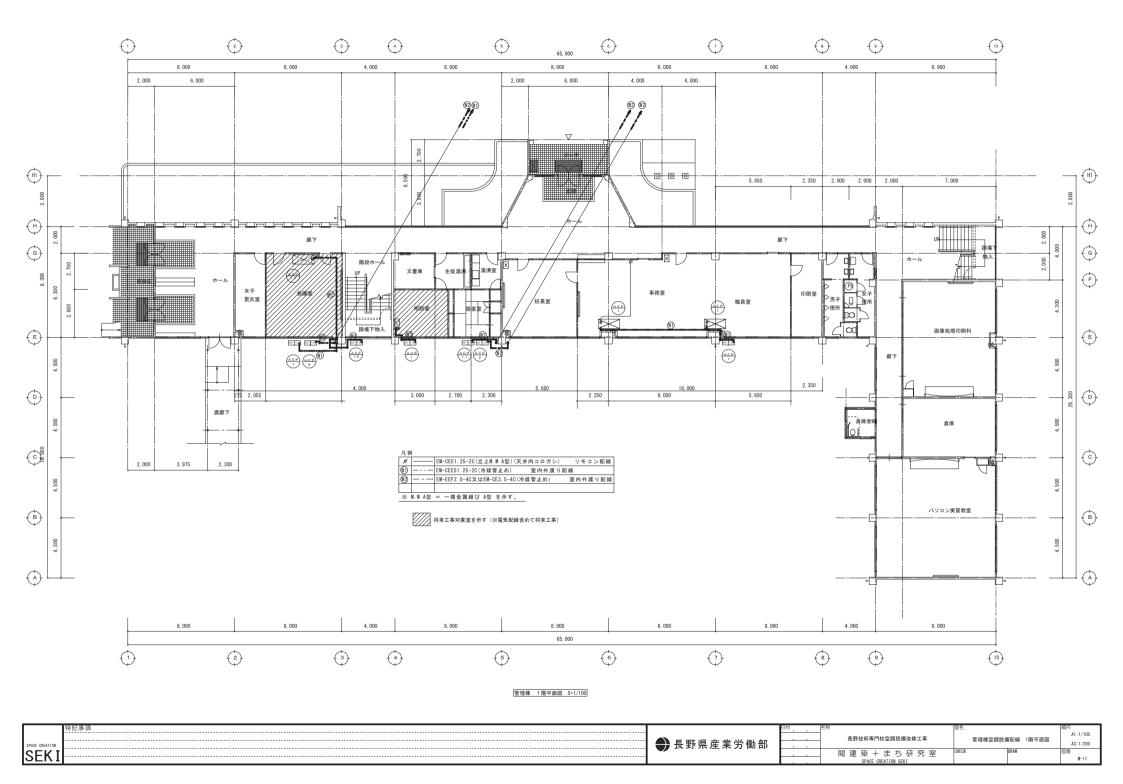
		Я	例	
図示記号	名	称	備	考
	空調室内機		天井吊形 壁掛形	
₽₽	空調室外機		ビル用マル ルームエア	チエアコン コン

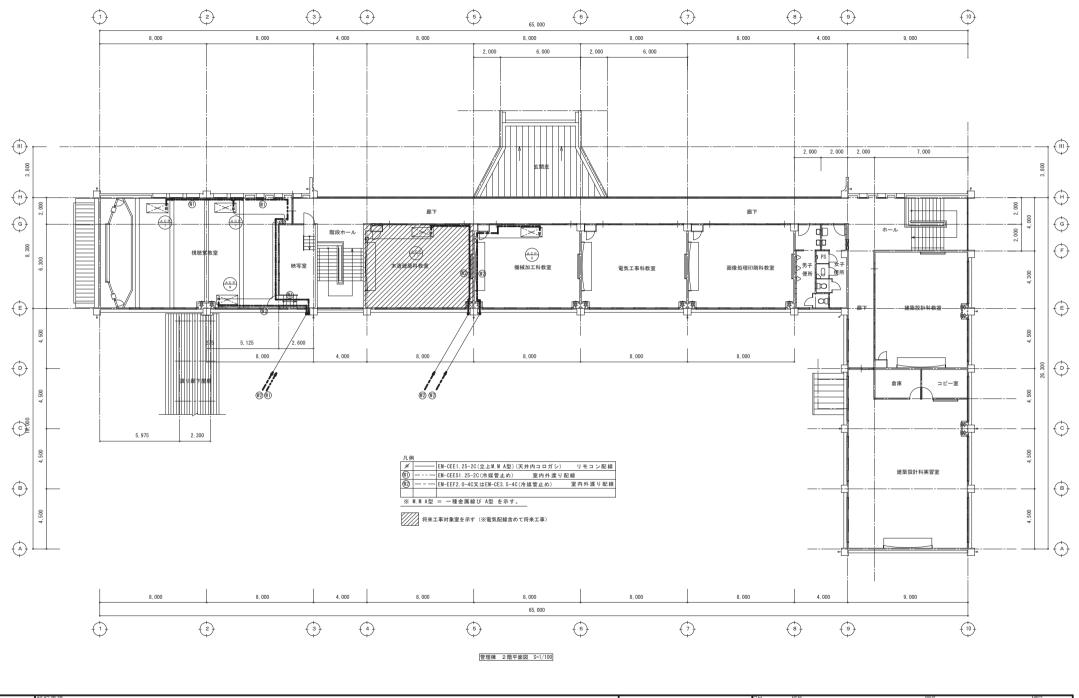
将来工事対象室を示す(※冷媒管、ドレン管含めて将来工事)



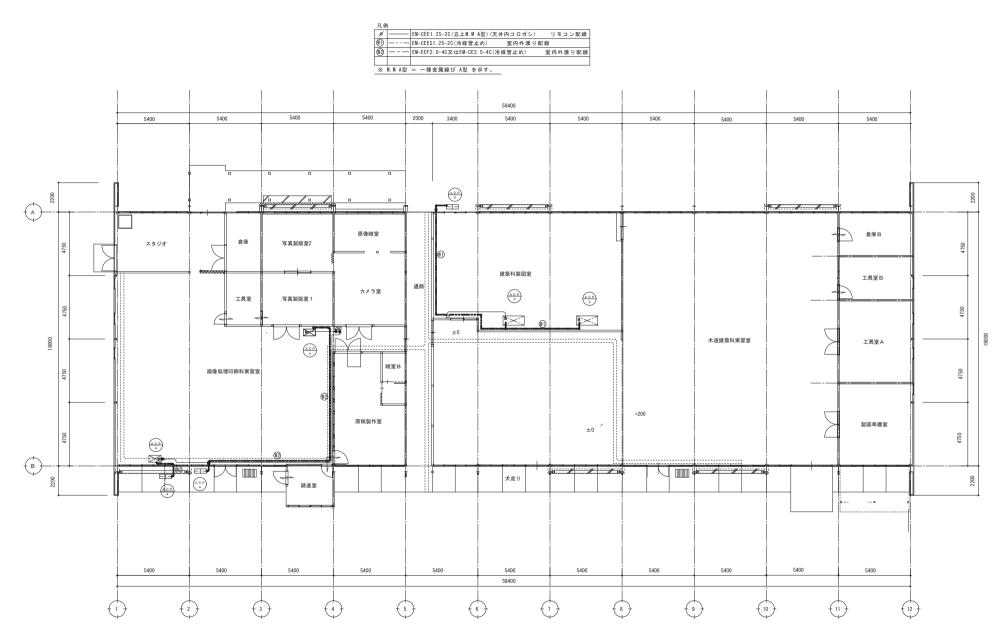
寄宿舎棟 1階平面図 S=1/100

	特記事項		日付	名称	図名	縮尺
						A1:1/100
				- 長野技術専門校空調設備改修工事	寄宿舎棟 平面図	10-1/000
SPACE CREA	ION	卡 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1				A3:1/200
				問連筋しまた可勿安	CHECK DRAW	図番
SE				周建栄干より切九主		N 10
				SPACE CREATION SEKI		M-10



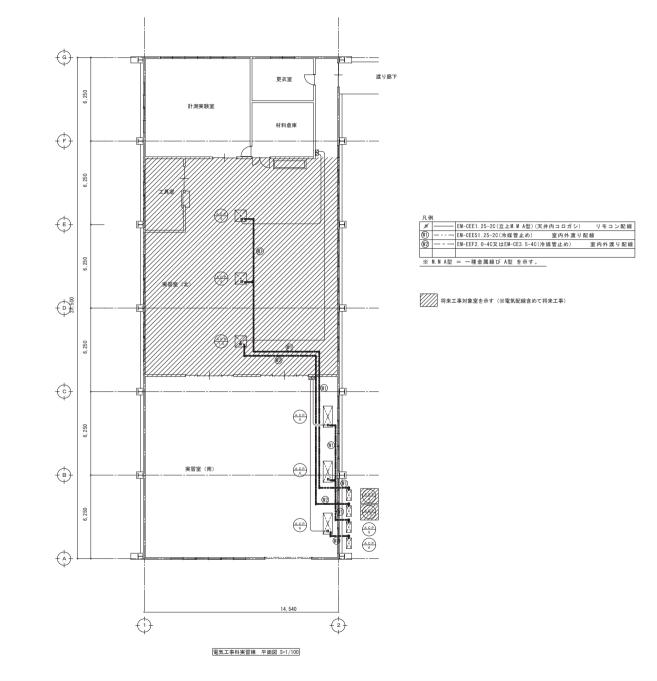


	特記事項		日付 名		22		縮尺
							A1:1/100
		▲ F 堅 目 去 类 労 働 如		長野技術専門校空調設備収修工事	管埋棟空	同設備配線 2階半面図	42.1/200
SPACE CREATION							NJ · 1/ 200
CEK I				関 建 築 + ま ち 研 究 室	CHECK	DRAW	図車
SENT				SPACE CREATION SEKI			M-12

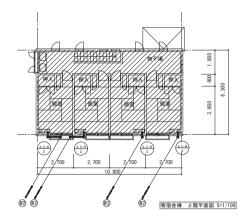


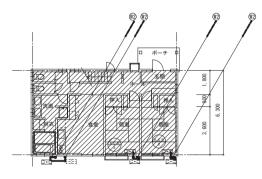
画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 平面図 S=1/100

	特記事項		日付	呂称	図名		縮尺
1				暴野技術専門校空調設備改修工事	画像処理印刷科・2	木造建築科実習室棟	A1:1/100
SPACE CREATION		● 長野県産業労働部		X I X I X I X I X I X I X I X I X I X I	空調設備配線 平面図		A3:1/200
				闘建築上まち研究室	CHECK	DRAW	<b>図番</b>
SEKI				SPACE CREATION SEKI			M-13



	特記事項		B付 <u>.</u>	5称 長野技術専門校空調設備改修工事	図名 雪気工事利案習練空調設備配線 平岡	縮尺 A1:1/100
SPACE CREATION		●長野県産業労働部			EXT FIXER TRUE ROOM TO	A3:1/200
SEKI				関 建 築 + ま ち 研 究 室 SPACE CREATION SEKI	CHECK DRAW	図番 M-14





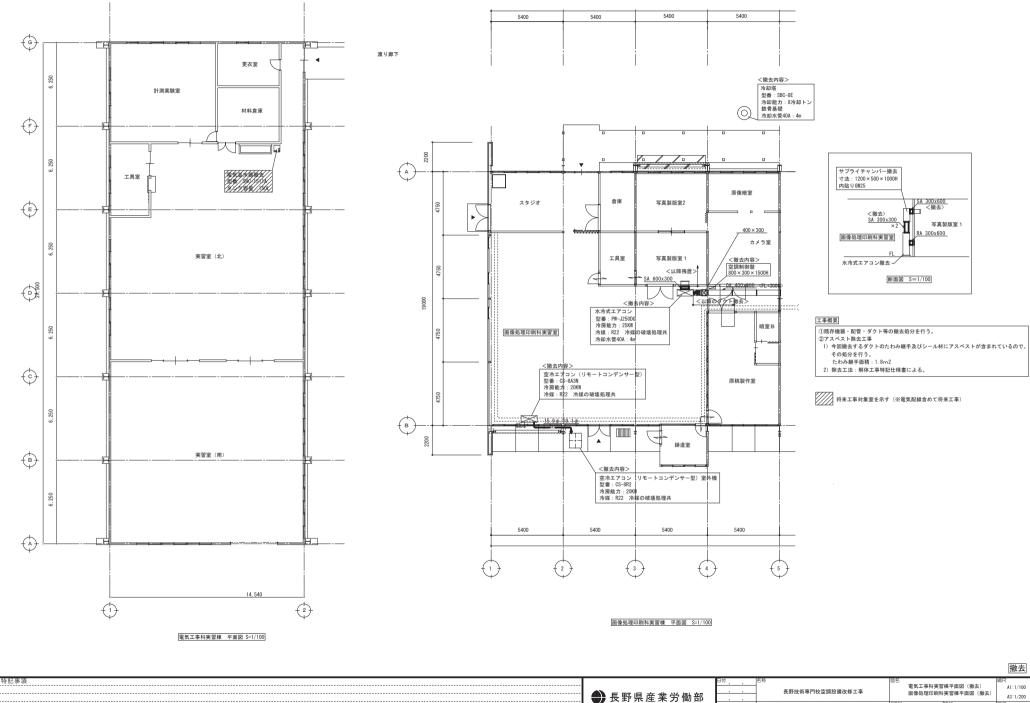
凡仞	9		
ø		- 1	EM-CEE1.25-2C (立上M.M A型) (天井内コロガシ) リモコン配線
		- 1	EM-CEES1.25-2C(冷媒管止め) 室内外渡り配線
1		- 1	EM-EEF2.0-4C又はEM-CE3.5-4C (冷媒管止め) 室内外渡り配線
*	M.M A3	및 :	= 一種金属線び A型 を示す。

将来工事対象室を示す(※電気配線含めて将来工事)



寄宿舎棟 1 階平面図 S=1/100

	特記事項		日付...	名称	<b>図</b> 名	縮尺 A1:1/100
SPACE CREATION		●長野県産業労働部		長野技術専門校空調設備改修工事	寄宿舎棟空調設備配線 平面図	A3:1/200
SEKI				関建築+まち研究室 SPACE CREATION SEKI	CHECK DRAW	図番 M-15



関建築+まち研究室

SPACE CREATION SEKI

CHECK

M-16

SPACE CREATION

## 長野技術専門校 空調設備改修工事 概略工事工程表

т		R 5							
重	月 場所等 日	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4 ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目
±44		1 10 20	1 10 20	1 10 20 承認図	1 10 20 機器製作	1 10 20	1 10 20	1 10 20	1 10 20
機械	エアコン機器発注								
機械設備工事	管理棟						現況調査 電管ルート確保 室内機吊込	配管	紅運転調整
争	画像処理印刷科 ・木造建築科実習棟						現記調査 配管ルート建保 室内機吊込		紅蓮転網整
	電気工事科実習室						726-打・網口補強	10*	<u></u> 載:連転調整
	─ <del>寄宿舎棟─</del> (将来工事						現記録査 配管ルート確保 室内機吊込 72本打	1028	<u>試達転調整</u>
	外部							室外機設置 室外機違り配管	
-		事前說查:							
電気	準備・調査								
電気設備工事	受変電設備改修 ・空調盤	承認図							切替 ※停電作来1~21
7	管理棟					現況調査	1021日 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 10210 102100000000	盤設置	
	画像処理印刷科 ・木造建築科実習棟					現況調査		<u></u>	
	電気工事科実習室					現況調査		建設調	
	<del>自火報設備(寄宿舎)</del> (将来工事)				現況調査	記堂- 記録			
	電力監視設備 (管理棟)	承認図		機器製作			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	設置	
建 築	仮設工事 機器設備基礎工事	現場事務所設置				部,外部定場 · 養生			清掃・後片付け 現場事務所搬
エ   事	機器設備基礎工事						根切へ配筋・型枠組立コン打ち		
	内装改修工事					天井搁去			
検査	検査								社内线查 担当线查 完了橡
	完成書類								書類作成
	特記	・工事は施設を使用しなが	、実際の工事に当たっては実施 らの工事のため、工事範囲、エ 騒音の発生する作業は、原則と	工程等、施設管理者等を含めて	(十分な協議をした上で、実)	施工程表を提出して監督員の			

参考

	特記事項	日付 名利	ř	國名	縮尺
			長野技術専門校 空調設備改修工事	概略工事:	工程表
SPACE CREATIO	◎				
SEK			関 建 築 + ま ち 研 究 室	CHECK D	RAN 図曲
	<u> </u>		SPACE CREATION SEKI		N-17

## 長野技術専門校 空調設備改修工事(電気設備工事)

工事場所		古簿	± ± ±								2 特記仕様			<ul> <li>① 工事写真</li> <li>① しゅん工時提出物</li> </ul>	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。 増増444本取び知事にとる
工事場所	長野	巾條ノ	井布	地五明								唐(共通事項)」によるほか次の	各項目による。	<ul> <li>しゅん工時提出物</li> <li>再使用機器</li> </ul>	標準仕様書及び別表による。 取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。
建物概要											<ol> <li>(1)項目は、番号に〇印の付</li> <li>(2)特記事項は、〇印の付し</li> </ol>			• ++ ic miaw	ねたじき使用な無は、お用こしじ用用及びに確認しまたとううと彼なういうる。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
~ ~ ~ ~											(2) Million Aller, Onion No.	-12 0 07 2 Hilling - 60		○ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版 :監修(独)建築
建物名称		横	造			延 面 積		消防法剂 別表第一	8行令 の区分	備考	項目		特記事項		研究所」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受ける
管理棟 画像処理印刷科・木道	法建筑利金河中市	1-		地上2 地上1				7項 7項			<ul> <li>0 機材等</li> </ul>	本丁事に使用する印備時ま	(等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。	1	ものとする。
1個短短坦印刷料・不20 2気工事科実習棟	這建榮科美智至棟	-		地上1 地上1			-	/坝 7項	-				(のとする場合は、監督職員の承諾を受ける。		(1) 設計用水平地震力
是電室		-		地上2	站			7項			個 様 村 の 品 質 性 能 証 明		100とする場合は、玉目線員の示師と支いる。 10日のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たす		機器の重量 [kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。
「宿舎棟		-		地上1			-	7項					資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたこと		なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。
3寄宿舎		-		地上1	<u>범</u>		-	7項				を示す書面を提出し監督』			設計用標準水平地震度
		-			-							材料機材名	材料機材名		. NPORT 0-0051
												-	· 電気錠		
		-			$\rightarrow$								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		上層階、 機器 2.0 1.5 1.5 防衛支持の提器 2.0 2.0 2.0
		-			+				-				<ul> <li>その他、監督員の指示によるもの</li> </ul>		上品店         防振支持の機器         2.0         2.0         2.0           歴上及び塔屋         水槽類(※1)         2.0         1.5         1.5
		1			-								こよる「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材		機器 1.5 1.0 1.0
												<ol> <li>品質及び性能に関する</li> <li>生産施設及び品質の</li> </ol>	試験データが整備されていること。 1理が適切に行われていること。		中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 水槽額(※1) 1.5 1.0 1.0
												<ol> <li>3) 安定的な供給が可能</li> </ol>	あること。		水槽類(※1) 1.5 1.0 1.0 機器 1.0 0.6 0.6
工事種目	(05	000	とものき		z \							<ol> <li>法冷等が定める場合に</li> <li>新さまたは施工の内容</li> </ol>	、その許可・認可・認定または免許を取得していること。		地下・1階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0
1741	101	10.50	5008									<ul> <li>5) 設進または施工の実施</li> <li>6) 販売、保守等の営業(</li> </ul>	ばあり、その信頼性があること。 「朝が整えられていること。		水槽類(※1) 1.5 1.0 1.0
					建物別及	び屋外					③化学物質を発散する		る建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有する		(※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。
工事種日	項目	管理	南侯	受重	寄日	日 査				外横	建築材料等		(5) を消たすものとする。		©重要機器の定義は次による。
		<b>R</b>	外理的	Ŧ	積目	8					AE 341 10 47 17				○受支電設備 免電設備 直流電源設備 交流無停電電源装置
B. 47 35 /#		+	18 1	•			$\vdash$	+		$\left  \right $			ング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル 1材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを		<ul> <li>交換機・自動火災報知受信機・中央監視装置・</li> <li>・</li> </ul>
電灯設備				-	0	-	$\vdash$	+	_			ホート、その他の不貢加 放散しないか、放散が			③上層階の定義は次による。
助力設備	幹線、分岐	0	00	-	$\vdash$	+	$\vdash$	++		0			!のて少ないものとする。 材はホルムアルデヒドみびスチレンを放散しないか、放散が極めて		2~6階速の場合は最上階、7~9階速の場合は上層2階、 10-10階速の場合は上層2階、12時以上の場合は上層2階、
電熱設備		+		-	$\vdash$	+	$\vdash$	+	_	$\left  \right $		(2) 保温村、織歯村、町部 少ないものとする。			10~12階連の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2) 約4回の声映示力
2保護設備		+	-	-	$\vdash$	+	$\vdash$	++		+++			n -ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難		<ul> <li>(2)設計用鉛直地震力</li> <li>(2)設計用鉛直地震力</li> <li>(2)設計用鉛直地震力</li> <li>(2)設計用鉛直地震力</li> <li>(2)設計用鉛直地震力</li> <li>(3)設計用鉛直地震力</li> <li>(4)設計用鉛直地震力</li> <li>(5)設計用鉛直地震力</li> <li>(5)設計</li> </ul> <li>(5)設計</li> <li>(5</li>
受変電設備		+		0	$\vdash$	+	$\vdash$	+	_	$\left  \right $			n ー フテル及びフタル板シー 2 ーエテルペキシルを言考しない難 .、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼンを		設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
電力貯蔵設備				+	$\vdash$	+	$\vdash$	+		$ \rightarrow  $		非死性の可型用を使用し		🚺 あと施エアンカー	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章2節8.2.4及び12節による。
停止形電源設備 2000年	直流電源装置	+	-	-	$\vdash$	+	$\vdash$	+		$\left  \right $			eのこ少ないものとする。 ド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が	-	強度確認試験方法を施工計画書に記載し、監督員の承諾を得た後に実施すること。
そ電設備	非常用発電	+		-	$\vdash$	+	$\vdash$	+		$ \rightarrow  $		植めて少ないものとする			
そ電設備	太陽光発電	+		-	$\vdash$	+	$\vdash$	+		$\left  \right $			。 )建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他	13 防火区面等の 第 36 m 28	電線等が、防火区面又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、 言通信所の画面から写真撮影し、工事写真として提出する。
青内情報通信網設備		+ +	_	_				+	_				ν産業材料等を使用ししたられた水果、書菜、果酸百、ての他 ∗デヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	貫通処理	
青内交換設備	電話設備		_	_	$\vdash$				_				カビドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。 放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデ	① 電線ケーブル	(1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「タイシガイセン EM-EEF」と
青報表示設備	時計設備		_	-				+	_				RR版しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルテ いものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外の		表記されたものを使用する。
映像音響設備				_				+				ものを使用するものとする			<ul> <li>(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに</li> </ul>
<u>救声投債</u>				_					_						JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。
诱導支援設備	インターホン・Hル呼出			+	$\vdash$	+	$\vdash$	+	_				ない場合は、第三種のものを使用するものとする。 この故歌号」は、次のとおりとする。	21 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本
テレビ共同受信設備			_	-	$\vdash$	+	$\vdash$	+				また、「ホルムアルデヒ」	の放散量」は、次のとおりとする。 該当する建築材料		5 個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。
監視カメラ設備		+		-	$\vdash$	+	$\vdash$	+				ホルムアルナヒトの放散す		22 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
住車場管制設備				-	$\vdash$	+	$\vdash$	+	_	$ \rightarrow  $			<ul> <li>①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品</li> <li>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</li> </ul>	② 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。
防犯入退室管理設備				-	$\vdash$	+	$\vdash$	+							◎ 照外 · 屋内())
自動火災報知設備		0		_	$\vdash$	+		+					③下記表示のあるJAS規格品 ・ # + # / フェニトドズ 培美製作用	❷ 埋め戻し土	<ul> <li>A種[山砂の類:水綿め、機器による綿固め]</li> <li>OB種[根切り土の中の良質土:機器</li> </ul>
自動閉鎖設備				_				+	_				a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用		<ul> <li>C種 [他現場の建設発生土の中の良質土: 機器による締固め]</li> <li>Diff (アキートを)</li></ul>
非常警報設備				_		+		+				规制対象外	b 接着刺等不使用		・D種 [再生コンクリート砂:水柿め、根器による締固め]
ガス漏れ警報設備				-	$\vdash$	+	$\vdash$	+	_				c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散 さいたりは単位用		● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
		+		-				+					させない材料使用	<ul> <li>2 建設発生土の処理</li> <li>2 ケーブル埋設票</li> </ul>	<ul> <li>●場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し</li> <li>(1) 地中線路には、ケーブル埋股票をもうける。</li> <li>● 鉄製 ◎ロンクリ</li> </ul>
中央監視制御設備				-	$\vdash$	+	$\vdash$	+	_				d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用		
構内配電線路				-				+	_				e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散 たみたいきお使用		(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (2) 四端増的増払びのmet がごうろ 組合け、始内値増加増加、met につ あい とかのする
構內通信線路				-	$\vdash$	+	$\vdash$	+	_				させない塗料使用		(3) 配管埋設幅が750mを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上数設する。 (1) 常用するゴルボックスのすけみびこれの仕上ばは、メニアン焼け塗装しする。
		+		-		$\rightarrow$	$\vdash$	+	_				f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散 たみたい含め等体理	🗿 ブルボックス	<ol> <li>(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。</li> <li>(2) 常用するブルボックスのよれのよわれどはた時ビストする。</li> </ol>
教去工事													させない塗料等使用 ① JIS T F JIS の F + + + + + + + + + + + + + + + + + +		(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。
												第三種	①JIS及びJMSのF☆☆☆規格品 (小時期前期は你に会なっつきのをつきなった」とを開きた道士医院中日	フラッシュブレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○全属製・・樹脂製 ゴルポークフージョン・レポークフラび保護を実施したいゴレートには 即次も即三
管理技術者等													<ul> <li>②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</li> <li>③旧JISのEO規格品</li> </ul>	🚱 ブレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示 した時間をつける
計事務所名				dat. ==	技術者								③IIIJISのEO現格品 ④IIIJASのFOO機格品	① 記線器具	した略標をつける。 タンブラスイッチは連用形とする。
計事物所名 関建築+まち研究室				-	技術者								S HOUSE COMMER	2 10.88番具	
国産県十ずち幼光室				1 8	170则						4 施工条件明示項目	• 公共建筑平安结核节带。	·解説(設備工事編)の「執務並行改修」		壁付けコンセント (2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は模式を 使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。
主任担当技術者				.+c	当技術学	8					<ul> <li>4 肥工架件明示項目</li> <li>⑤ 電気保安技術者</li> </ul>		/##は1皮爾上半冊/の「料務业行な炉」  路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務	③ 機器への接続	使用して良い。また(27150)以外は9へてキャラン村296。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
意匠担当				1 2							- ALAND	上事現場の電気工作物( を行うものとする。		の一般は、いう技能	<ul> <li>・ 測定場所: ○ 各室(測定箇所数 5 箇所) ○ 廊下 ○ 階段</li> </ul>
息匹担当 関建築+まち研究室	川上貴ナ			+							① 電気工事士		P電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。	martin	· 洞走場所: O 各坐(洞走圖所致 5 圖所) O ■下 O 階級 用 途: · 非常用题明 ○ 一般题明
関建泉+よら切光主 構造担当				+							<ul> <li>電気工事工</li> <li>実施工程表及び</li> </ul>		9電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。 - 画書は、工事苦手に先立ち速やかに提出する。		<ul> <li>○ 学校施設における室内照度測定(測定教室: 個所、測定黒板面: 個所)</li> </ul>
情道担当 *****				+							()実施工程表及び 施工計画書		画書は、工事者中に先立ち速やかに提出する。 当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は		デ权施設における室内照度測定(測定板室: 個所、測定黒板面: 個所) ※数室の照度は、1 数室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する
積算担当				+							2011年1月1日日	(2) 工程別の肥工訂開書は、 監督職員の承諾を受ける			
*****				+							③ 使用材料発注先調書		。」⊂。 発注先等を記載した調書を作成し提出する。	0 99	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・純緑抵抗測定表・接地抵抗測定表を
電気設備担当				+							<ul> <li>使用材料完注光調書</li> <li>免生材の処理</li> </ul>	使用材料治、吸道来省泊、 (1)引渡しを要するもの	<ul> <li>売注光寺を記載した詞書を作成し提出する。</li> <li></li></ul>	<b>* *</b> *	<ol> <li>(1) 万電量等の回面ボルターに、単級相級回・把維払払利定表・技地抵抗利定表を 収納する。</li> </ol>
电丸設備担当 たくしん電気設備設計	計 阿奈一条			+							2 元工付の処理				
たくしん電気設備設計 機械設備担当	** 19160-***亚			+								<ul> <li>(2) 引渡しを要するもの以り</li> <li>(3) 特別管理座案廃棄物</li> </ul>	<ul> <li>●構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。</li> <li>●構 ・有(PCB使用機器:関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)</li> </ul>	AU	(2) 端子盤には、線番麦・結線表を備え付ける。
做做政策坦当 片間設計事務所 ド	生用 用			+										🥝 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 (高社)、明明時間とフライ - 本田県 - ( )
/11-400041単初席 月	/ 191 91			+								<ul> <li>(4) 再利用又は再資源化を図</li> <li>(4) 再利用又は再資源化を図</li> </ul>			< 資材> ・原明制御システム ・変圧器 ・() (2010年間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日目、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、100日間、10000000000
				-							C RALET		8 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 ) (mint)、		<建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 ア東京公表(東京 东区)による。ただしこれにより難い場合は防部時間に均等する。
											1 監督員事務所	<ul> <li>         ・</li></ul>	) )	<ul> <li>他工事又は他工種 との取り合い</li> </ul>	工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。
事仕様											THEFT		)		お外生のを活用業なび帯ではロレーロンデル・バッド(4455)には本/ショナル・・・
通仕様											工事用仮設物	すべて請負者の負担とする		③ その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)
													できる ・できない	37 その他	<ul> <li>(数が振立式ボーム・・)(電子ス化ジス)ム(に掲載される、副級ス化公言の最内涵書)</li> <li>旅工制約条件</li> </ul>
図面及び特記仕様書											🚺 足場さん橋類	-	置したものは、無償で使用できる。	o, (w)B	45
仕様書 (電気設備工事												◎本工事で設置する。			
仕様書(電気設備工事							び「公共	建築設備:	E			◎内部仮設足場等(・架台)	に足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・ )		
	L事編)(令和4年版											· 外部足場			
	猿工事を本工事に含	む場合、	機械設	儀工事2	とび建築	工事はそれ	れぞれの	工事仕様1	書を適用			<ul> <li>・ A種 [施工箇所面</li> <li>・ C種 [仮設ゴンド</li> </ul>	に枠組足場を設ける。] ・B種 [施工箇所面に単管本足場を設ける。] ラを使用する。] ・D種 [移動式足場を使用する。] )		
機械設備工事及び建築											<ul> <li>工事用電力・水・その他</li> </ul>		フを使用する。」 ・U種[移動式正确を使用する。」 ) 1、水等の費用及び官公署その他の開係機関への諸手続等に		
機械設備工事及び建き する。			1712	いつ。)	(令和)	3 牛服) 扌	<b>大</b> 野県建	設部施設	*宝形			要する費用は請負者の負担			1
機械設備工事及び建? する。	工事の手引き(以下														
機械設備工事及び建き する。	工事の手引き(以7					1		1	1	1	1 1		■ T 事 名		
機械設備工事及び建築													* 工事名		

個別提出物			一括提出物
1 完成図		5	根器完成図
◎ 原図 (A1版)	ケース入り)	6	工事写真
● 陽面(A1版)	2 つ折り製本 1 部)	7	完成写真
O CADデータ(jww≵	:Updf形式)	8	工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書)
		9	機材の試験成績書
2 設計図		10	施工の試験成績書
O CADデータ		11	社内試験成績書
		12	竞生材処理報告書
3 引渡書			(廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書
4 納入品			の写し、マニフェストの写し、フロー図)
<b>○</b> 予備品 ○ 1	類の鍵	13	納入品一覧表
・ ハンドホールフ	ック、ジャッキ	14	官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)
		15	保全に関する資料(取扱い説明書も含む)
<ul> <li>ハンドホールに</li> <li>配管貫通部は、</li> </ul>	は国土交通省仕様に準ずるものとする。 ノックアウト部分を設けてはならない。 原則として視巻き320円・(F=18N/m以上 ては、あらかじめ監督員にn2F本-&製作D 図による。		
. ハンドホール No	1、500×1、500×1、5 董WPM-60A (Eマ	00D 一ク入	應都 GL-1、740以上 (アルミ様子付)
・ ハンドホール No	1、200×1、200×1、5 董WPM-60A (Eマ	00D 一ク入	底部 GL-1、700以上 (アルミ梯子付)
・ ハンドホール No	1、000×1、000×1、4 董WPM-60A (Eマ	00D 一ク入	底部 GL-1、6005以上 (アルミ様子付)
ハンドホール	1,000×1,000×1,1		底部 KL-1、300以上
N o	蓋 WPM-60A (Eマ	一ク入	(アルミ様子付)
・ ハンドホール No	1,000×1,000× 9 ≛WPM-60A (E⊋	272	底部 GL-1、060以上 (アルミ様子付)
ハンドホール	900× 908×1, 1		底部 GL-1、260以上
N o	± ₩PM-60A (Eマ	ーク入	(アルミ様子付)
ハンドホール No 1	990× 900× 9 1 WPM-60A (ET	00D 一ク入	底部 GL-1、060以上 (既製足場付)
. ハンドホール No		80D 一ク入	(既製足場付)
No		80D 一ク入	
接地極	これによりがたい場合は監督員との協	義による	10
<ul> <li>A種接地</li> </ul>	銅板1.5t×900×900 リード端子付 堀削埋戻中心深さ		接地椿(連結式10¢×1、500) n 埋設様(黄銅製又はステンレス製)
<ul> <li>B種接地</li> </ul>	鋼板1.5t×600×600		接地棒 (連結式+0 ( × 1、500)

(別表) しゅん工時提出物 (・に〇印のついたものを提出する。)

A種接地	期伝1.5t×900×900 補助接地棒(連結式10¢×1、500) リード端子付 堀用埋炭中心深さ 2m 埋設様(黄銅製又はステンレス製)
日種接地	期版1.5t×600×600 補助接地棒(連結式→00×1、500) リード端子付 堀削埋炭中心深さ 2m 埋牧標(黄銅製又はステンレス製)
C種接地	開版1.5t×300×300 補助接地棒 (連結式10φ×1、500) リード <u>純</u> ∓付 福斛埋原中心深さ1.5π 埋設標 (黄綱製又はステンレス製)
D推接地	接地棒(10 φ × 1、500) リード端子付 打ち込み式 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
	B種接地 C種接地

5 機器取付高

電気設備特記仕様

	名 称	測点	取付高(mm)		名 称	测点	取付高(mm)
共 通	取引用計器 引込開閉器 警報盤	地上~上端 床上~上端 床上~中心	2,000 1,800 1,500	時計・拡	<ul> <li>         ・型掛形親時計         子時計         ・型掛形スピーカー         ・     </li> </ul>	床上~中心 "	1,500 (上端1,900以下) (天井高)×0.9 (天井高)×0.9
8	分電整 タンプラスイッチ (身神名用) コンセント(一般) パ (和室) パ (日午等) パ (日上) プラケット(一級) パ (詳場)	床上~中心 " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	1,500 (上第1,900以下) 1,300 1,100 300 150 500 150 2,100 2,500	声 表 示	アッテネーター 表示整 壁付発信器 ベル ブザー 押ボタン が(身障者用摂和)) 身障者用表示灯 復帰ボタン	" 床上~中心 " " " "	1,300 (天井高)×0.9 1,300 (天井高)×0.9 (天井高)×0.9 1,300 900 2,000 1,800
кт Вл	" (鏡上) 避難口誘導灯 廊下通路誘導灯 塑掛形制御盤 千元開閉錄	競端~中心 床上~下端 床上~上端 床上~中心	150 1,500以上 1,000以下 (上端1,900以下) 1,500	インターホン	<ul> <li>壁付インターホン</li> <li>(身障者用)</li> <li>壁付位置ポックス</li> <li>(壁付インターホンを騎</li> <li>(一般)</li> <li>(和室)</li> </ul>	床上~中心 " (K) "	1,500 1,100 300 150
<i>ħ</i>	操作スイッチ 押ポタン	"	1, 300	テレビ共	機器収容箱 アウトレット // (一般)	床上~中心	(天井高)×0.9 300
8	室内端子整 (廊下室内) 中間端子整	床上~下端 床上~中心	300	ビ共同受信	が (一版) (和室)	"	150
18	<ul> <li>(EPS電気室)</li> <li>集合保安器箱</li> <li>壁付アウトレット</li> <li>ボックス(一般)</li> <li>パ (和室)</li> </ul>	и и и	(天井高)×0.9 300 150	火災報知	受信機 副受信機 機器収容箱 免信器 ペル 消火栓表示灯	床上~操作部 " 床上~中心 "	800~1,500 800~1,500 800~1,500 800~1,500 (天井高)×0.9 (天井高)×0.8

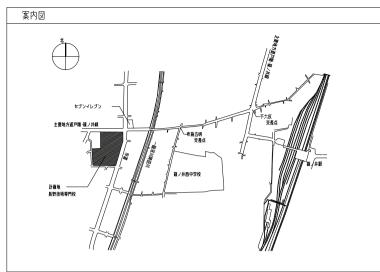
工事しゆん工後3ヵ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で学校長あて報告する。 (管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。)

Date.

2022.12

E-01

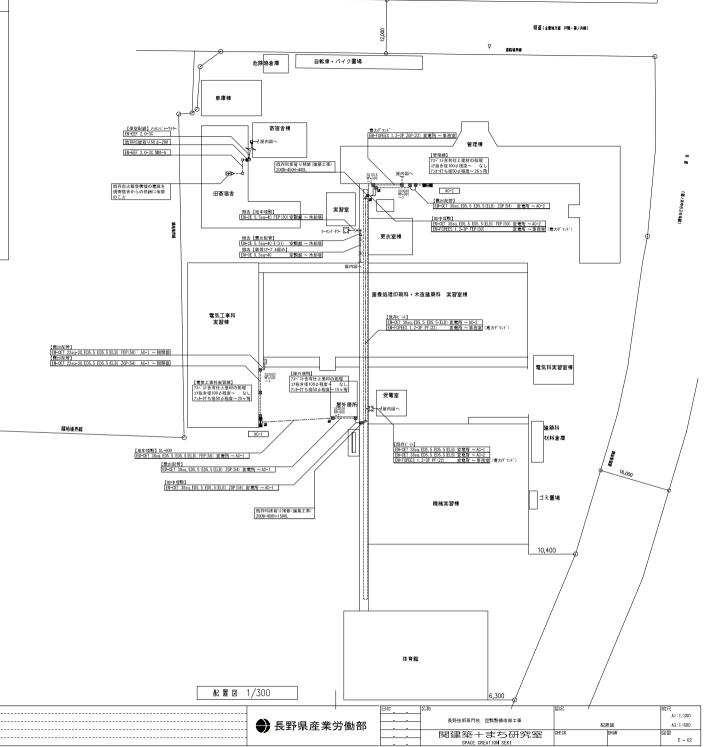
No.



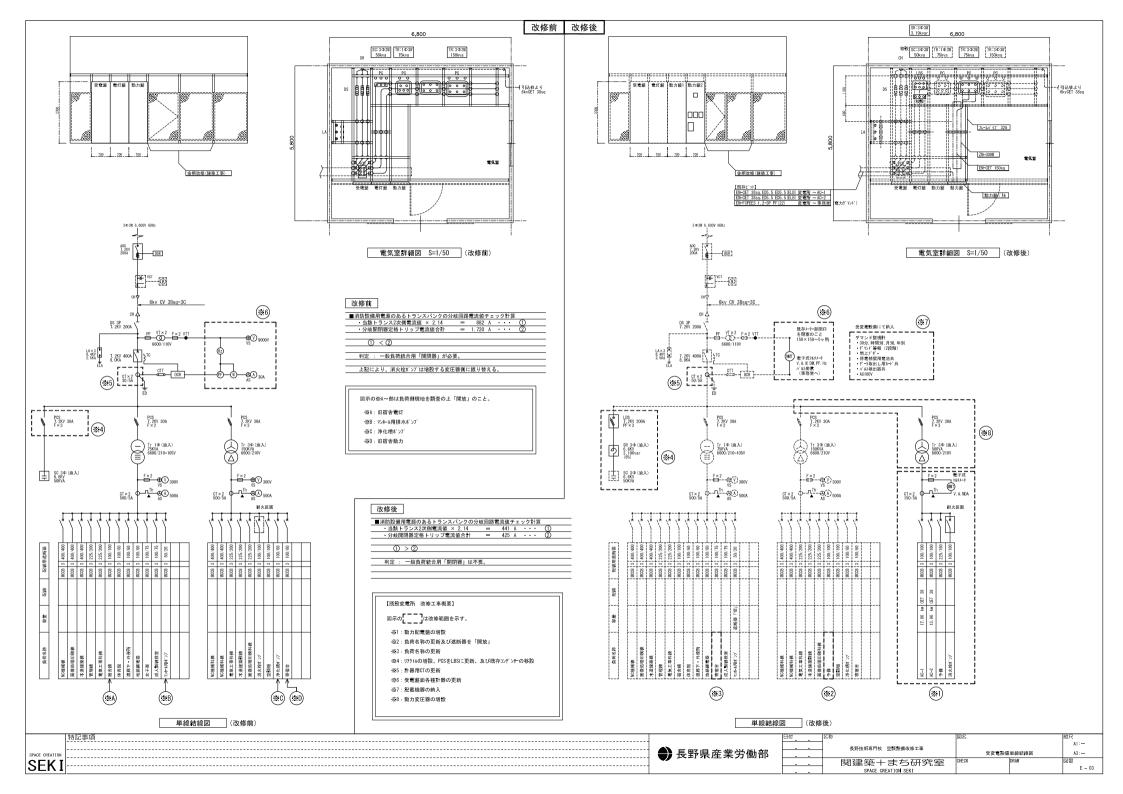
道路境界部

6,000 #

(甕ノ井中631号線)

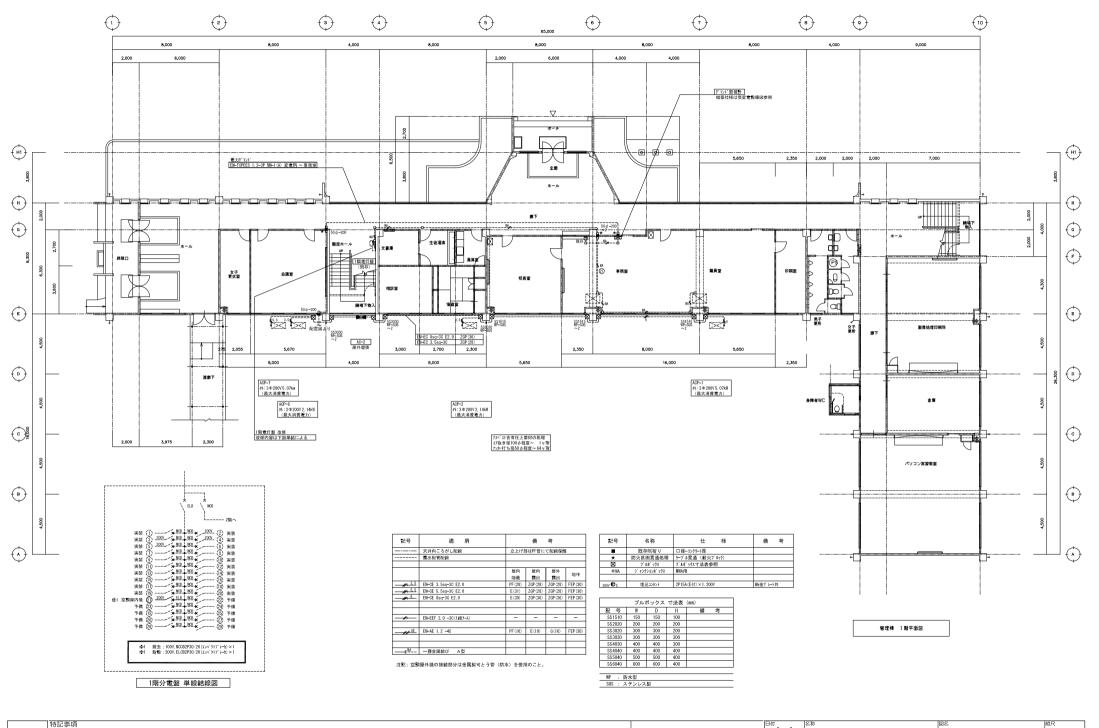


特記事



				負荷				手元発停・表示	ŧ	遠方発停・表示		
A         電源送り         B         電源送り(電流計有)         C         直入記動         D         Y ーム記動         E         直入記動         自動交互運転         F         直入記動(c)(-14)(0)         G         Y ーム記動(c)(-14)(0)         H         MW電圧	整名称	電 気 方 式 主 開 閉 器 合 計 容 量			負荷		主制監		発	表示	129-099	備考
	00/ 幹線番号	승 計 상 표	電圧 記	号 負荷名称	容量 (KW) BLCB	P AF/AT	<sup>回</sup> 回回 路路路	→ 状故満減 態障水水	 括停	状 故 満 減 計 態 障 水 水 量	速 勁 括	
±         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I         I												
		AC 3 Ф 3W 200V										
	AC-1		200 ACP-		5.07 ELCB 2.14 "	3 50/40	A — —					
	鋼板製 屋外自立型 架台H:200共	NCCB 3P 100/100AT	" ACP-	6 屋外機 國像処理印刷手元開閉器			"					
	架台H: 200共			固体処理印刷手元開用者 入ペース (50A)	10.42 MOUD	3 100/75						
		幹線負荷合計 17.86 kw	$\vdash$	A. A (300)								
		10.0.0.0										
	AC-2	AC 3 0 3W 200V	200 ACP-	1 屋外機	5.07 ELCB	2 50 (40	A — —					
		NCCB 3P	// ACP-		2.14 //		"					
a         手元         b         手元・違方         c         手元・自動(連動)         d         自動(液面1-c)         c1         体水回路(自交)         f1         体水回路(自文)         c         液面滑稽(流文は流)         h         液面脊稽(流苑)	鋼板製 屋外壁掛	NCCB 3P 100/100AT	// ACP-			// 50/40	"					
		幹線負荷合計 13.96 kw	" ACP-		2.14 "		"		$\square$			
		13.96 kw		λ^'-λ (50A)								
			$\vdash$			_						
			$\vdash$									
			$\vdash$									
$\begin{bmatrix} \mathbf{x} & \mathbf{y} & \mathbf{y} \\ \mathbf{x} & \mathbf{y} \\ \mathbf{y} & \mathbf{z} \end{bmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{x} & \mathbf{y} \\ \mathbf{z} \\ \mathbf{z} \\ \mathbf{z} \end{bmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{z} \\ \mathbf{z} \\ \mathbf{z} \\ \mathbf{z} \\ \mathbf{z} \end{bmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{z} \\ \mathbf{z} \\$			$\vdash$	-								
$ \begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$												
								++++				
イ         タ序状態養根         ロ         状態養根         ハ         計測(温度)         二         計測(電道等)         木         計測(電力量)			$\vdash$									
			$\vdash$									
※ パルス接点入力 接点入力 接点入力 接点入力 アナログ入力 アナログ入力 パルス入力												
			$\vdash$		+ + +		+		$\left  \right $			
Pf 更換著			$\vdash$		+ + +	+ +	+	++++	$\left  \right $			
第回2体 4~20x1・0~100m			$\vdash$					++++	$\left  + \right $			
			$\vdash$									
(Mer)												
【注記】 1. 電源表示灯を盤原表面に実装のこと。			$\vdash$									
1. 電源表示以を整理表面に実装のこと。 2. 空調機へのELOBは満調波対応とする。			$\vdash$		+ + +		+					
<ol> <li>2. 主政策 'OULSIG # MARKANG 5 %。</li> <li>3. 道督等 (SPD) を実めこと。</li> </ol>			$\vdash$		$\vdash$							
4. BI-22-864 E			$\vdash$									
				-								1
						_						
			$\square$		$\square$							
			$\vdash$									
			$\vdash$				++					
			$\vdash$		+ + +		+		$\left  \right $			
			$\vdash$						$\mathbb{H}$			+
			$\vdash$						$\left  + \right $			1
				1								1

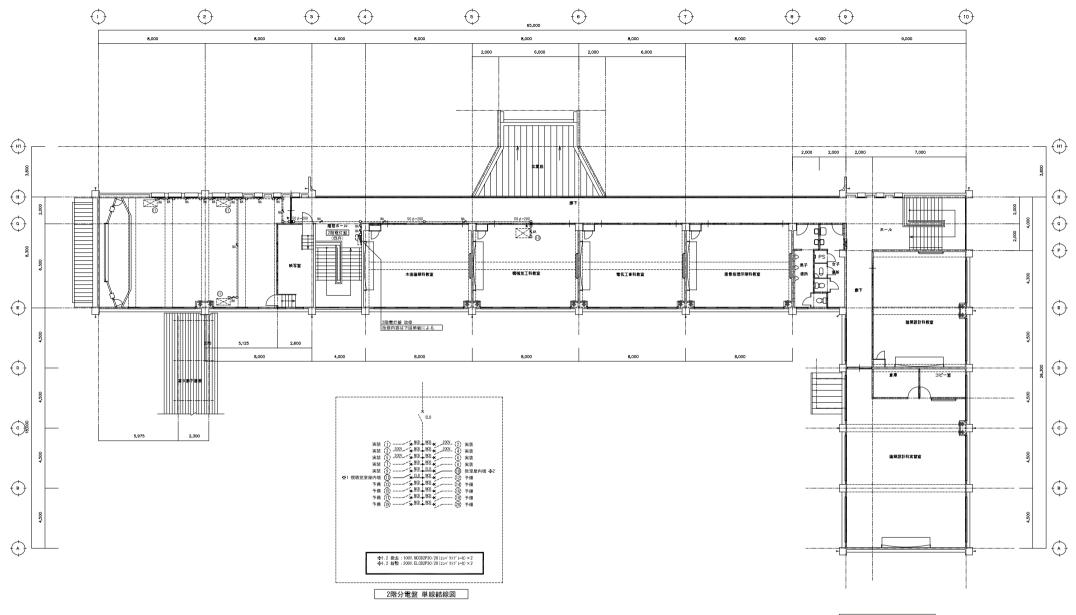
	特記事項	E	3付	名称	22		縮尺
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		暴野技術直門校 空調弊備改修工事			A1:
SPACE CREATION		▋長野県産業労働部 「				動力盤結線図	A3: —
CEK				関建築+まち研究室	CHECK	DRAW	国報
JOEN.				SPACE CREATION SEKI			E - 04



	015		管理棟	64 <u>3</u>	A1:1/100
● 長野県産業労働部		我野技術等门校 呈過武術政修工事	動力設備 1階平面図		A3:1/200
•		関建築+まち研究室	CHECK DRAW	ß	图 6 06
		SPACE CREATION SEKI			E = 00

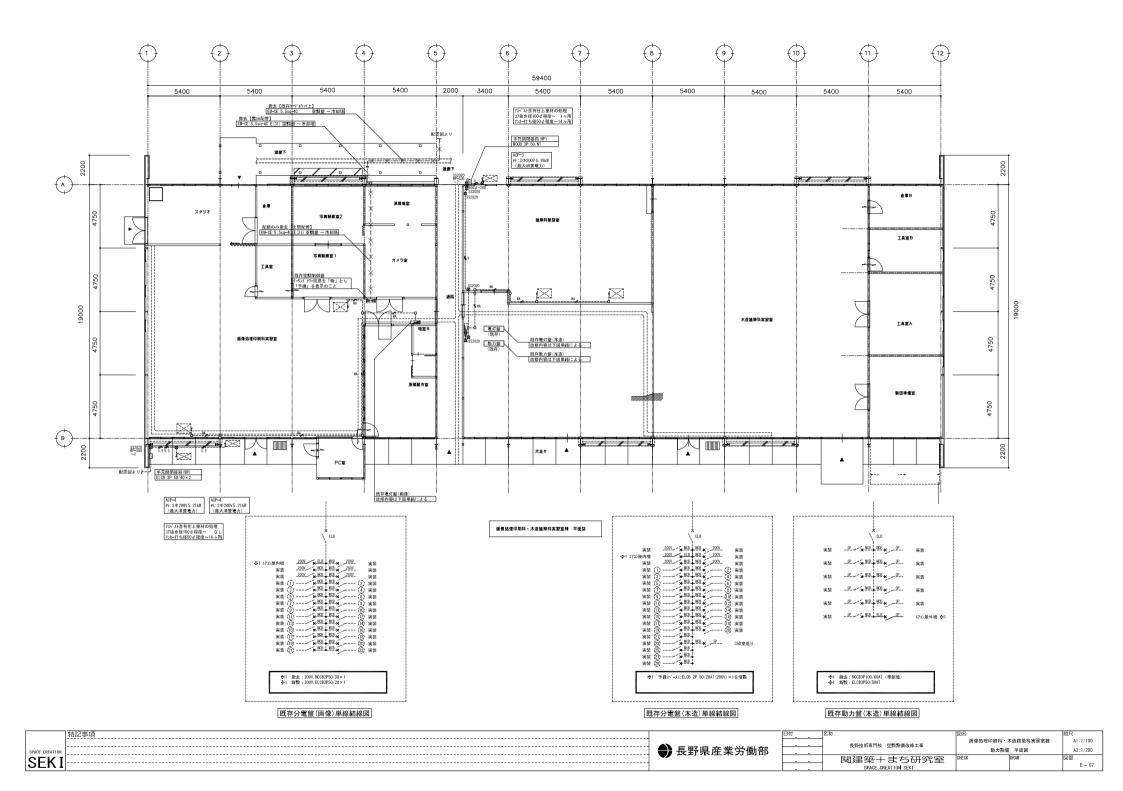
SPACE CREATION

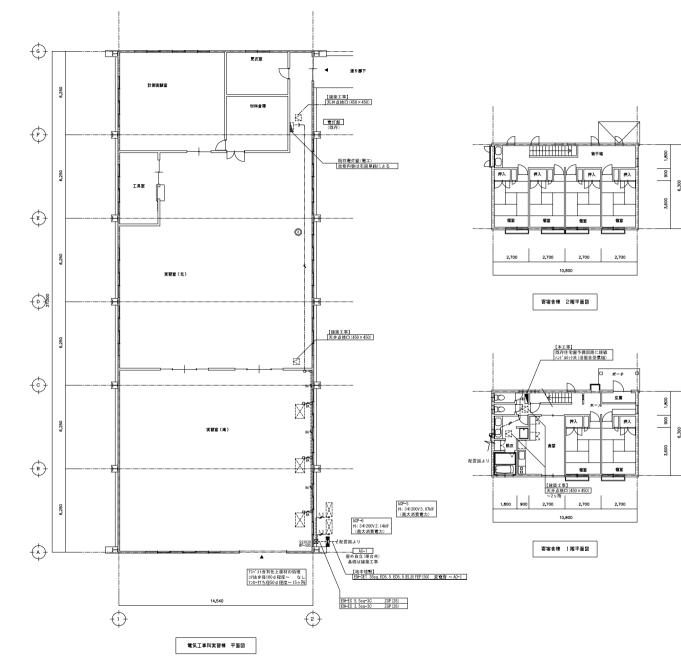
-----



管理模 2階平面図

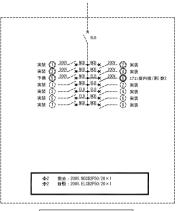
SPACE OPERING	特記事項		日付	名称	22 22	縮尺
		▲■■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		- 長野技術専門校 空調設備改修工事	管理	里楝 A1:1/100 2時來而回 A2:1/200
		▼ 支 野 宗 座 未 方 側 마		- 関建築+まち研究室	CHECK	DRAW 図番





特記事

SPACE CREATION

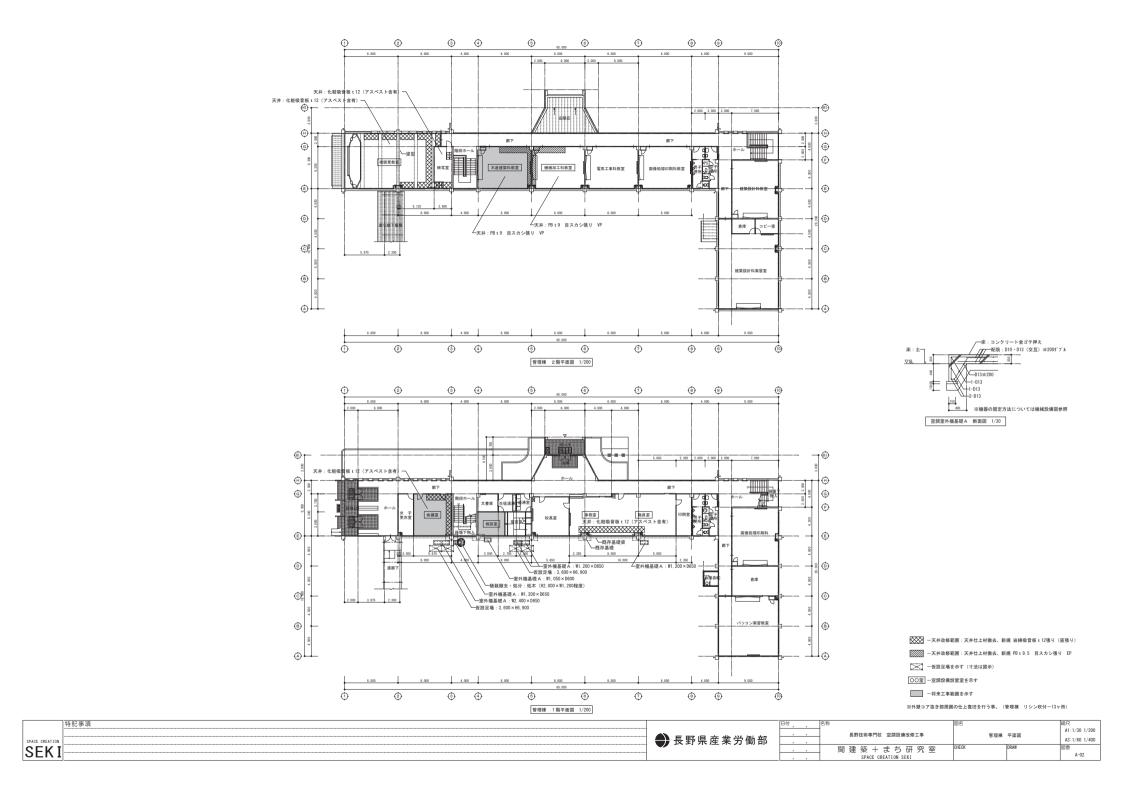


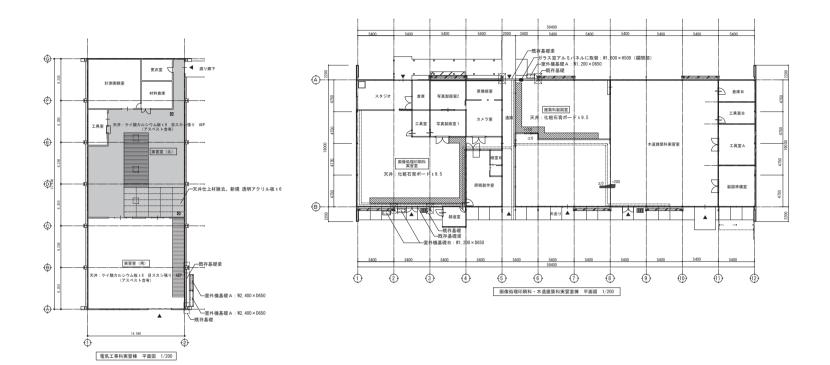
既存分電盤(電工)単線結線図

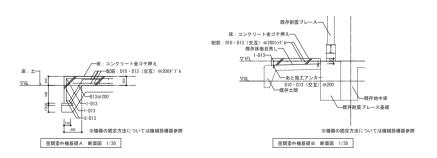
							_
		日付	名称	図名		縮尺	1
			長野技術専門校 空調設備改修工事		電気工事科実習棟 寄宿舎棟	A1:1/100	
	● 長野県産業労働部		DESTINI OF ITX INCOMENTS		動力設備 平面図	A3:1/200	
			関建築+まち研究室	CHECK	DRAW	図番	1
			SPACE CREATION SEKI			E - 08	

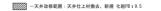
			0.087.00	[0.0.1]		[0 10 0 0]
長野技術専門校 空調設備改修 工事設計図	章 項目	特記事項 (1.2.2)	<ol> <li>① 足場その他</li> </ol>	[2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラ インの列紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における22の(2)手	② せっこうボード その他のボード張り	[6.13.2、3] り 種類 JIS 厚さ(mm)、規格等 加号
	1 適用区分		反	すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。		<ul> <li>・ 硬質木毛セメント板回</li> <li>HW</li> <li>・ 15</li> <li>・ 20</li> <li>・ 25</li> <li>・</li> </ul>
特記仕様書		- 風圧力 風速 (Vo= m/S)	L S	<ul> <li>○ 内部足場</li> <li>○ 設置する(※ 脚立、足場板等・))・設置しない</li> <li>○ 外部足場</li> <li>○ 設置する・</li> <li>シ設置しない</li> </ul>		
I 工事概要	<u>版</u> 共	地表面相度区分 (・I・Ⅲ・Ⅲ・Ⅳ) ・ 積載荷乗		<ul> <li>             の             肪</li></ul>		· 硬質木片セメント板回 HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・     · 普通木片セメント板回 NF ・ 30 ・
1 工事場所 1. 工事場所 <u>長野市篠ノ井布施五明</u>		- 64年7月31 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表( )		種別(・ A種 💿 B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種)		<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>
<ol> <li>工事種目 管理棟、面像処理印刷科・木造建築科実習室棟、電気工事科実習棟、寄宿舎棟の空調設備設置に伴う</li> </ol>	項			<ul> <li>C種:利用可能なエレベーター()</li> <li>D種:利用可能な階段())</li> </ul>		1.0FK     1.0FK     1.0FK     ロックウール化粧吸音板 DR ※ フラットタイプ
建築工事	<ol> <li>2 環境への配慮</li> </ol>	[1.4.1] (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有すると共	<ol> <li>(2) 既存部分の養生</li> </ol>	[2.3.1]		<ul> <li>(※9《不燃〉○12《不燃〉・</li> <li>)</li> <li>・</li> <li>・</li></ul>
		に、次の①から④を満たすものとする。	0	<ol> <li>(1) 養生の方法等</li> </ol>		(・12<不燃>・15<不燃>・19<不燃>・
		① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクル ボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、		<ul> <li>○ 既存部分 養生の方法(※ ビニルシート、合板等 ・ )</li> <li>○ 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ ビニルシート等 ・ )</li> </ul>		
		塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少 ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料		<ul> <li>・既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(・ ビニルシート等 ・ ) 保管場所 (・ 図示 ・ )</li> </ul>		① せっこうボード         GB-R         ② 9.5         ・12.5 〈不燃〉         ・15 〈不燃〉           ・ 不燃積層せっこうボード         GB-NC         9.5 〈不燃〉         ・ 化粧無 (下地張り用)
3. 工事範囲		を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を		<ul> <li>         ・ 備品、机、ロッカー等の移動         (・ 図示         ・         )         (2)         既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を     </li> </ul>		・ 化粧有(トラパーチン模様)     ・シージングせっこうボード GB-S 12.5(※ 不然 ・ 準不燃)
※「2.工事種目」すべてを工事範囲とする。		使用する。		(2) 成分部方に方来又は損害を与えるのでれのめる場合は長生を行う。また、方一損害等を 与えた場合、受注者の責任において速やかに修復等の処理を行う。		<ul> <li>強化せっこうボード</li> <li>GB-F</li> <li>H2.5 (不燃)</li> <li>H5.0 (不燃)</li> </ul>
<ul> <li>「2. 工事種目」のうちの工事範囲は下記表のとおりとする。</li> <li>ただし、他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</li> </ul>		③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジーn-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。	3 仮設間仕切	[2.3.2] [表 2.3.1]		torcうラスボード GB-L 9.5     化粧せっこうポード(木目) GB-D 12.5 〈不燃〉 幅 440mm 程度
T 審練目		④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデ ヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料をし		<ul> <li>(1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所</li> <li>(2) 仮設間仕切りの種別と材質等</li> </ul>		模様(※ 柾目 ・ 板目) 専用下地材付き           ① 化粧せっこうボード         GB-D         9.5 〈準不燃〉
工事項目 工事項目 仮設工事 〇		たものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」と		種別下地         仕上げ(厚さmm)         塗装         充填材           ・ A種         ・木         ・ せっこうボード(9.5mm)         ・無し ※ 有り		(トラパーテン模様)           ・ 普通合板回
内装改修工事 〇		は次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する		・ B 種 ・ 軽量鉄骨 ・ 合板 (9.0mm) ・ 片面		<ul> <li>生地、透明塗料塗り</li> </ul>
空調基礎工事		材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の 7第 1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデ		※ C 種         単管         防炎シート           充填材         ※ グラスウール 32k         (厚:50mm以上)		<ul> <li>(※ラワン合板程度 ・ )</li> <li>・ 不透明塗料塗り</li> </ul>
		ヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の 7第 4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料		(3)         仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等           材質         仕上げ         塗装         充填材		(※しな合板程度 ・ ) 板面の品質 ( )
		③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料		※ 木製 ※ 合板張り程度 ・ 無し ※ 有り		接着の程度(・1類 ・2類)
		④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料		- ・ 無し - ・ … ・ 片面 ・ 無し		厚さ (mm) ( ) - 防虫処理
	<ol> <li>材料の品質等</li> </ol>	[1.4.2] (1)本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び		充填材 ※ グラスウール 32k (厚:50mm以上)		<ul> <li>・ 天然木化粧合板回</li> <li>化粧板の樹種名()</li> <li>厚さ(mm)()</li> </ul>
		住能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品 (	<ol> <li>① 改修範囲</li> </ol>	[6.1.3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲		接着の程度(・1類 - 2類) ・防虫処理
		を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。	5	※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示		<ul> <li>・特殊加工化粧合板回</li> <li>化粧加工の方法</li> </ul>
II 建築改修工事仕様		(3)標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	表   坎	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両面 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示		<ul> <li>(・ オーパーレイ ・ ブリント ・ 塗装 )</li> <li>表面性能</li> <li>( ) タイプ</li> </ul>
<ol> <li>共通仕様         <ol> <li>(1)図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書のうち、Oを付け</li> </ol> </li> </ol>		(4)本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥す べての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性	多 L	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示		厚さ (mm) ( ) 接着の程度(・1類 ・2類)
たものを適用する。		能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業 者名等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。	2 既存床の撤去及び	[6.2.2]		
〇公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)           〇建築工事標準詳細図(令和4年版)(以下、「標準詳細図」という。)		<ol> <li>品質及び性能に関する試験データを整備していること。</li> </ol>	下地補修	ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) ・ 下地モルタルとも(・ 図示の範囲 ・ 除去範囲全て)		<ul> <li>ポリエステル樹脂化粧板</li> </ul>
- · 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)		<ol> <li>生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</li> <li>安定的な供給が可能であること。</li> </ol>		合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法		ファイバーボード回
<ul> <li>・敷地調査共通仕様書</li> <li>・ 敷地調査共通仕様書</li> <li>国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課(平成27年改定)</li> <li>・ 建築構造設計基準</li> <li>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成25年版)</li> </ul>		<ul> <li>④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</li> <li>⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</li> </ul>		コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹 指モルタルは、4章〈外壁改修工事〉による。		・単板張り     ・ 無研磨板VN ・ 研磨板VS     パーティクルボード回     ・10 ・12 ・15 ・18
<ul> <li>・工事写真の撮り方(改訂第二版)建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</li> <li>              ・反長野県建築工事の手引             長野県建設部施設課監修      </li> </ul>		<ul> <li>(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。</li> <li>(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料</li> </ul>		改修後の床の清掃範囲 ※ 改修箇所の室内 ・		・ 化粧 ・ 単板オーバーレイDV ・ ブラステッウオーバーレイDO パーティクルボード回 ・ 塗装DC
<ul> <li>公共建築木造工事基準仕様書</li> <li>由土交通省大臣官房官疗営繕部監修(平成28年版)</li> <li>建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修</li> </ul>		無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ 類、自動原機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロ	<ol> <li>3 既存壁の撤去及び 下地補修</li> </ol>	[6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修		
⊙長野県建設リサイクル推進指針		ア、移動間仕切、トイレプース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレ	1 20 10 10	※ 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り		<ul> <li>研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード) R S</li> </ul>
(2)電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様 書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は(E 図)、機械設備工事の特記仕様書は(M 図)による。		ーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、床型枠用鋼製 デッキブレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、重量シャッター、		(塗り厚25mmを超える場合の補修 ・ 行う ・ 行わない) ・ 図示		ハードボード(化粧)回     ・ 内装用DI ・ 外装用DE     ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
<ul> <li>(3)本特記仕様書の表記</li> <li>1)項目は、番号に 〇 印の付いたものを適用する。</li> </ul>		軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可助問仕切、トップライト、鋳鉄製ふた	① 軽量鉄骨天井下地			・インシュレーションボード回 IB A級(・天井仕上げ ・内装仕上げ ・)     ・9 ・12 ・15 ・18
<ol> <li>2)特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。</li> <li>○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</li> </ol>	4 室内空気中の 化学物質の濃度測5	(1.5.9) E (1)室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃		野緑等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形)		せっこうボード等の下地は図示による。 遮音シール材 適用する(・シーリング材 ジョイントコンパウンド)
○ 印と◎ 印の付いた場合は、共に適用する。 3)特記事項に記載の[] ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		度を測定し、測定結果を整督職員に報告する。 (2)測定対象室及び測定箇所数等は下記による。				<ul> <li>適用する</li> </ul>
4)特記事項に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		着工前の測定 ・ 行う		<ul> <li>         ・歴外の軒天井、ピロティ天井等         工法     </li> </ul>		合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
5)回印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。		湖定対象室 · 國示 · 湖定箇所数 · 國示 ·		建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対に対応した 工法		合板類の張付け ※B種 ・A種 せっこうポードの目地工法 ・仕上表による ・
		<ul> <li>(3) 測定は、パッシブ型採集機器により行う。</li> <li>(4) 測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。</li> </ul>		野緑受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示	<ol> <li>(1) 機械基礎等</li> </ol>	<ul> <li>         ・ 使用材料</li></ul>
	5 埋設配管・配線			野縁の間隔 ・ 図示 ・ 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない	0	鉄筋 SD295A 鉄骨 SS400
	および鉄筋調査	<ul> <li>あと施工アンカー工事</li> </ul>		あと施工アンカーの引抜き試験 ・ 行う(屋外の試験荷重:)	その	碎石 再生砂石 RC-40
		8章 (あと施工アンカー)による。 ・ コア抜き、はつり工事等		<ul> <li>行わない</li> <li>吊りボルトの間隔が900mmを超える場合</li> </ul>	他 2 フェンス	<ul> <li>設置場所 キュービクル廻り</li> </ul>
		<ul> <li>※ 既存資料調査</li> <li>・ 探査機(電磁波レーダー法又は電磁波誘導法)による探査</li> </ul>		補強方法 ※ 図示 ・ ・ 天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合		・ 仕様 スチール製ネットフェンスH=1800
		<ul> <li>記管・記線等の位置の墨出を行う。</li> <li>範囲</li> <li>図示</li> </ul>		補強方法 ※ 改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による ・ ・ 天井のふところが3.0mを超える場合	③ アスベスト処理	アスベスト含有建材の処理については以下による。なお、記載されていない事項は、 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」、
		<ul> <li></li></ul>		補強方法 ※ 図示 ・		「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」、
		労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定め るところによるほか、次による。		天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 図示		「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」による。 ・ ・ ・ アスベスト含有仕上塗材の搬去
		(1)作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する 資料を監督職員に提出する。		補強方法 ※ 図示 · 天井開口補強 · · · 野縁受けと同材による補強		除去対象範囲 アスベスト含有仕上塗材の使用された外壁面で、壁貫通又はアンカー打計 に必要な部分(コア抜き直径100m程度、アンカー打直径50m以下)
		(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響にない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。		<ul> <li>         ・ アルミ額縁タイブ     </li> </ul>		電気設備工事:123箇所程度 機械設備工事:13箇所程度 除去方法 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
		<ul> <li>(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適直調整する。</li> <li>(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。</li> </ul>				集 に A 装置 併 用手 エ 具 ケ レン 工 法
		(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。				その他(工事場所を所管する労働基準監督署の指導する工法)
		撮影枚数 枚 フィルムサイズ				除去したアスベスト含有仕上塗材等の飛散防止 密封処理(使用した保護衣等含む)
		コンクリート厚さ cm				除去したアスベスト含有仕上塗材等の処分 埋立処分(管理型最終処分)
						●アスペスト含有ポード類の除去(レペル3) 除去対象範囲 管理棟:化粧吸音板、電気工事科実習棟:ケイ酸カルシウム板
						「成本対象和語 目生味・10年候日報、単本上学行失目体・7日 (8000/27) 本報 作業場の隔離 行う 除去したアスペスト含有ボード類の処分
						埋立処分 (管理型最終処分)
						工事着手、施工、完成にあたり、特定粉じん排出等作業実施届出書(大気汚染防止法)、建 設工事計画届(労働安全衛生法)、その他関係法令等により必要とされる手続き等を、関係
						機関に対して遅延なく行うこと。
特記事項				日村 . 名称		図名 縮尺
						all the second

	位此争攻		una		20		60B7 C
SPACE CREATION		▲ 長野県産業労働部		長野技術専門校 空調設備改修工事		改修特記仕様書	
SEKI		1055元在未力国前		関 建 築 + ま ち 研 究 室	CHECK	DRAW	図番 A-01
				SPACE CREATION SEKI			





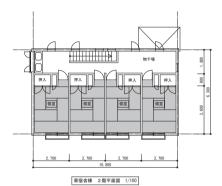


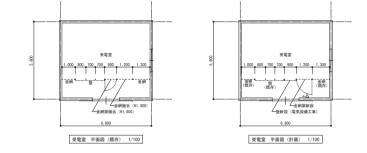


- ー天井改修範囲:天井仕上材撤去、新規 ケイ酸カルシウム板 t6 目スカシ張り EP
- -仮設足場を示す (寸法は図示)
- 図 -天井点検口 (450×450)
- OO室 -空調設備設置室を示す
- 一将来工事範囲を示す

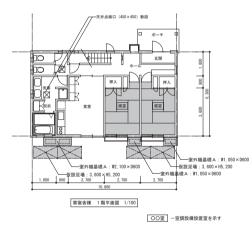
※外壁穴あけ部周囲の仕上復旧を行う事。 (画像処理印刷料・木造建築科実習室棟 リシン吹付-3ヶ所、電気工事科実習棟 吹付タイル-6ヶ所)

	特記事項		日付...	名称	図名	縮尺
		長野県産業労働部			画像処理印刷科・木造建築科 電気工事科実習機 平	市図 41:1/30 1/200
SPACE CREATION						A3:1/60 1/400
		<b>~</b> /		関 建 築 + ま ち 研 究 室	CHECK DRAW	図番
SEKI				SPACE CREATION SEKI		A-03







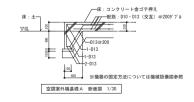


一将来工事範囲を示す

90 1.20 1.30 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.2

ビス報約回200 -FB-30×3 0P - 一支形金網(塗装品): φ2 @30 --30×30×3 0P

フレーム詳細図



	特記事項		日付	名称	図名		縮尺
		長野県産業労働部	· ·	長野技術専門校 空調設備改修工事	寄宿舍棟 受電室 平面図		A1:1/50 1/100
SPACE CREATION					N 10 0 14 A 16	AGE THEM	A3:1/100 1/200
CEKI				関 建 築 + ま ち 研 究 室	CHECK D	DRAW	医垂
SEKI				SPACE CREATION SEKI			A-04